

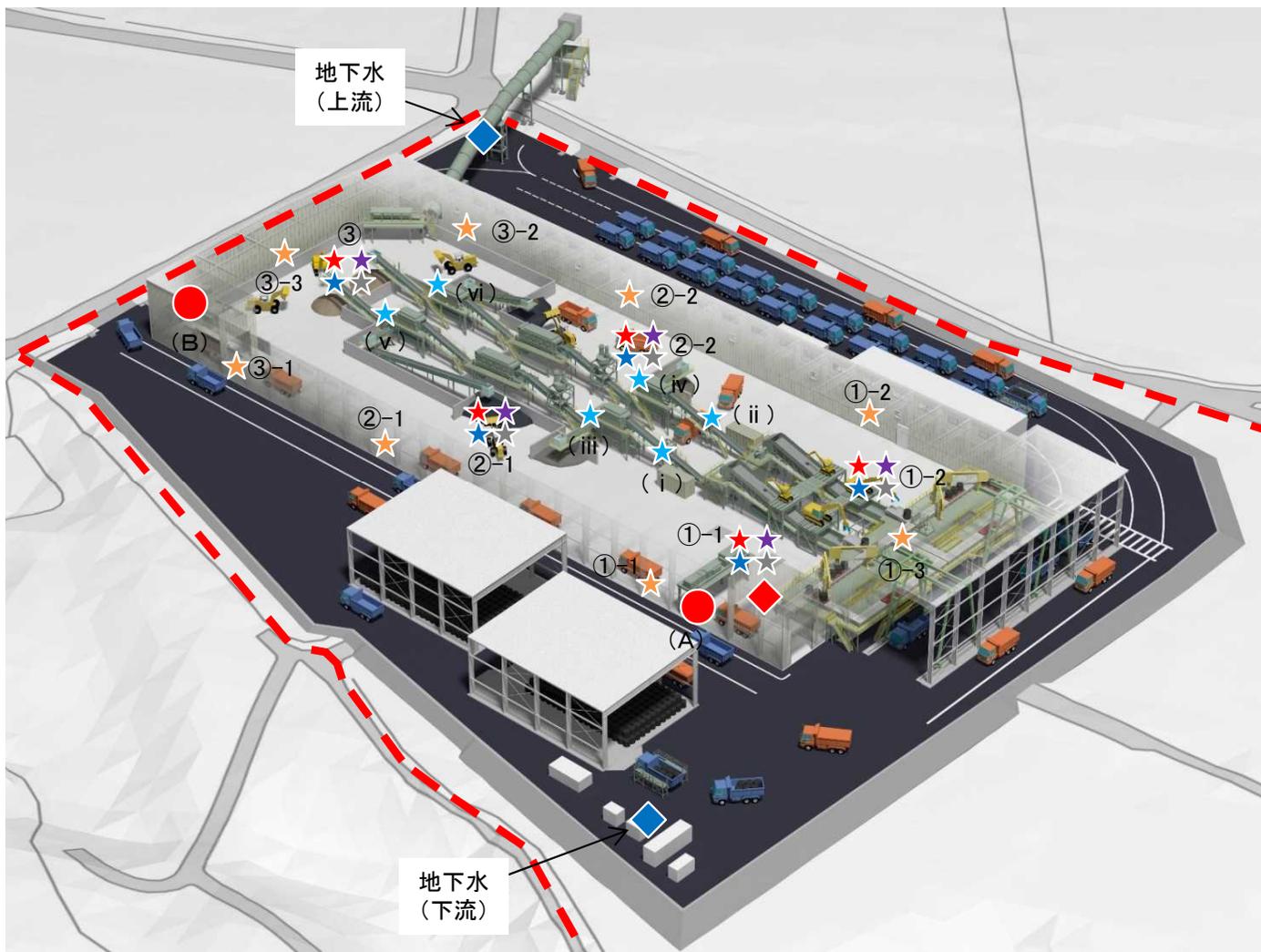


# モニタリング等の状況の詳細について

2019年8月  
環境省

# 大熊工区 受入・分別施設のモニタリング結果（月次測定）

# 受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



## 凡例

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度   | ◆ : 排水中の放射能濃度  |
| ★ : 粉じん濃度       | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁)   | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |                 |                |

# 受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/10	(稼働前)	23	17	ND	27	5.9	ND
2019/3/6	(稼働後) ※ ~2019/7/3	45	16	ND	30	8.2	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/3/13 ~2019/7/10 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.1Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.5Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/4 ~2019/7/6 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①-1	0.18	0.24
①-2	0.13	0.14
②-1	0.19	0.23
②-2	0.16	0.17
③	0.19	0.22

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/7 ~2019/7/3 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	4.5
①-2	2.2
②-1	6.6
②-2	3.4
③	5.6

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/4 ~2019/7/6 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①-1	ND
①-2	ND
②-1	ND
②-2	ND
③	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

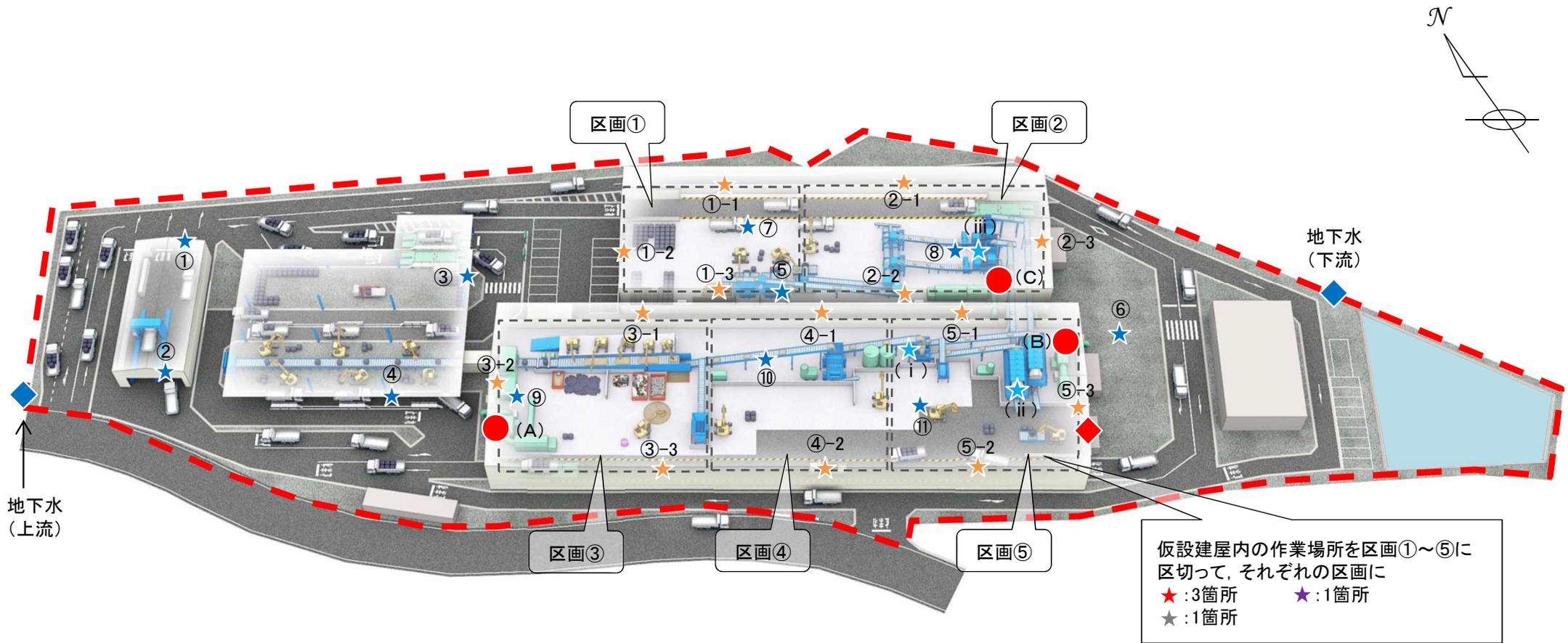
測定地点		2019/3/7 ~2019/7/23 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①-1	ND
	①-2	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	③-1	ND
設備	③-2	ND
	③-3	ND
	(i) 一次分別設備 (A)	ND
	(ii) 一次分別設備 (B)	ND
	(iii) 改質材添加装置 (A)	ND
	(iv) 改質材添加装置 (B)	ND
(v) 二次分別設備 (A)	ND	
(vi) 二次分別設備 (B)	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設（大熊②工区、第1期）のモニタリング測定地点（月次測定）



## 凡例

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度   | ◆ : 排水中の放射能濃度  |
| ★ : 粉じん濃度       | ★ : 空間線量率(作業環境) | ☆ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁)   | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |                 |                |

# 受入・分別施設（大熊②工区、第1期）のモニタリング測定結果（月次測定）

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/7/7	(稼働前)	12	5.1	ND	11	7.2	ND
2019/3/7 ~2019/7/4	(稼働後)※	13	4.9	ND	14	10	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/3/8 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/14 ~2019/7/12 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.21	0.25
②	0.20	0.30
③	0.24	0.60
④	0.20	0.35
⑤	0.24	0.40
⑥	0.20	0.28
⑦	0.46	1.33
⑧	0.19	0.30
⑨	0.16	0.21
⑩	0.19	0.36
⑪	0.24	0.30

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/8 ~2019/7/3 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①-1	1.0
①-2	1.8
①-3	1.6
②-1	3.1
②-2	2.6
②-3	2.9
③-1	2.2
③-2	1.9
③-3	2.2
④-1	2.9
④-2	2.9
④-3	4.4
⑤-1	2.8
⑤-2	2.0
⑤-3	2.3

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/10 ~2019/7/18	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/14 ~2019/7/12 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND
⑤	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

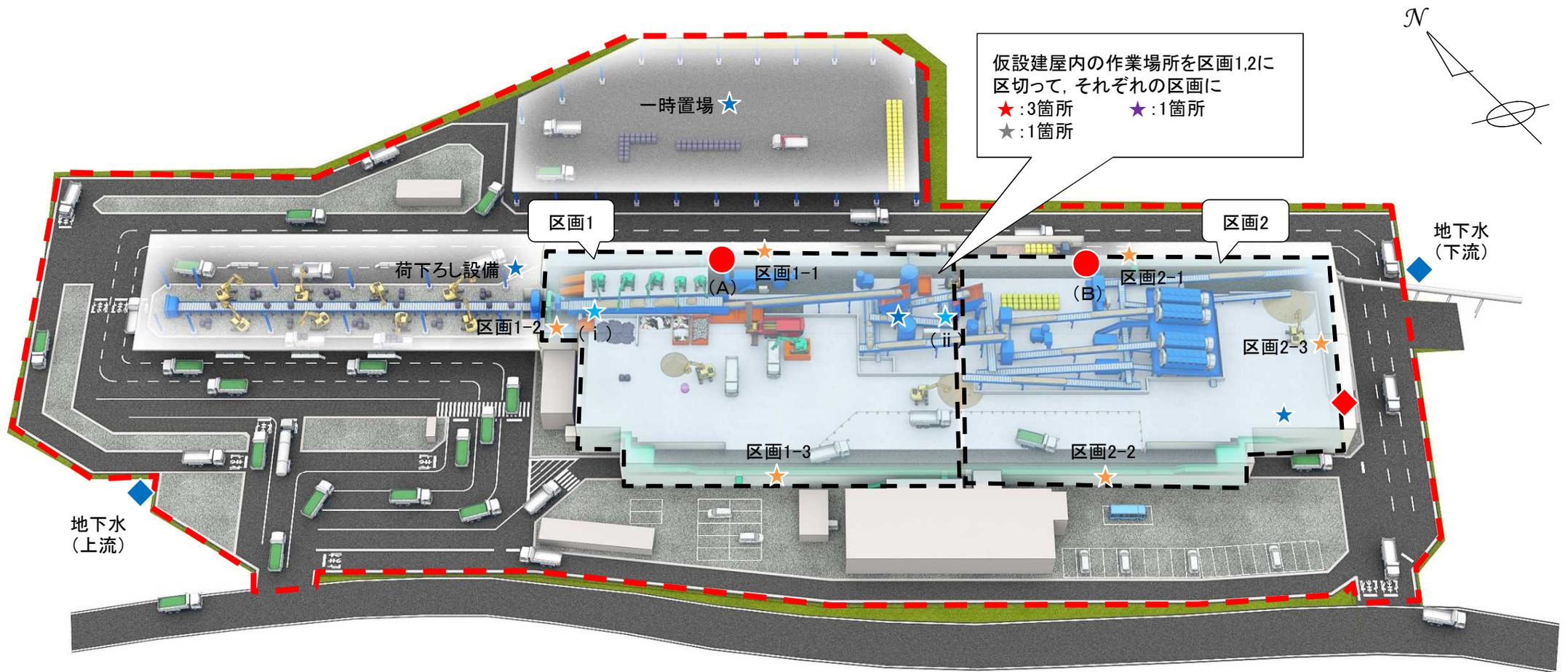
測定地点		2019/3/14 ~2019/7/12 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
	⑤	ND
壁	①-1	ND
	①-2	ND
	①-3	ND
	②-1	ND
	②-2	ND
	②-3	ND
	③-1	ND
	③-2	ND
	③-3	ND
	④-1	ND
	④-2	ND
	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	設備	(i) 改質設備
(ii) 二次分別設備		ND
(iii) 濃度測定設備		ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 受入・分別施設（大熊②工区、第2期）のモニタリング測定地点（月次測定）



## 凡例

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度   | ◆ : 排水中の放射能濃度  |
| ★ : 粉じん濃度       | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁)   | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |                 |                |

# 受入・分別施設（大熊②工区、第2期）のモニタリング測定結果（月次測定）

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/6/13	(稼働前)	11	9.0	ND	7.9	6.2	ND
2019/3/7 ~2019/7/4	(稼働後)※	16	14	ND	15	29	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/15 ~2019/7/12 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
	区画1
区画2	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/3/8 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：1.0Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.0Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/8 ~2019/7/3 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
区画1-1	3.0
区画1-2	3.3
区画1-3	9.5
区画2-1	3.3
区画2-2	5.8
区画2-3	3.3

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/3/15 ~2019/7/12 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	区画1	ND
	区画2	ND
壁	区画1-1	ND
	区画1-2	ND
	区画1-3	ND
	区画2-1	ND
	区画2-2	ND
	区画2-3	ND
設備	(i) 破袋機操作盤	ND
	(ii) 改質機操作盤	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/15 ~2019/7/12 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
区画1	0.10	0.17
区画2	0.18	0.40
荷下ろし設備	0.22	0.25
一時置場	0.23	0.37

## ◆排水中の放射能濃度

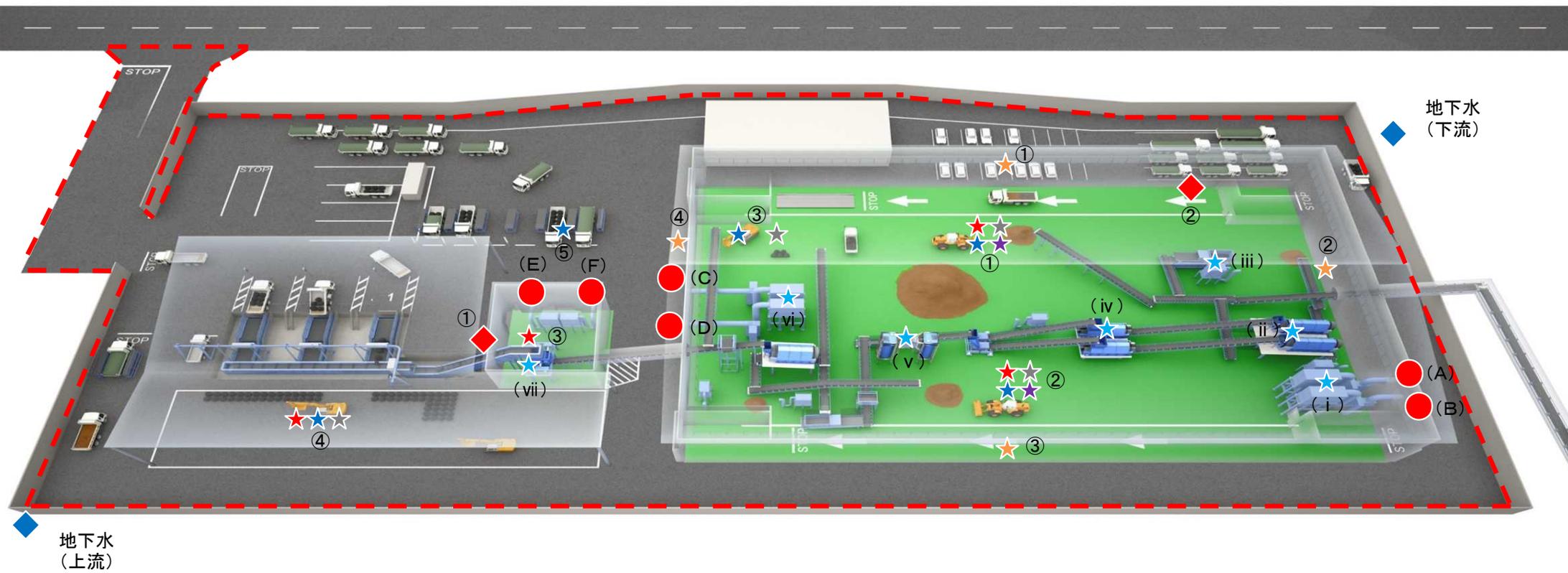
測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/15	(稼働後)	ND
2019/6/21	(稼働後)	1.1

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

# 受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



## 凡例

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度   | ◆ : 排水中の放射能濃度  |
| ★ : 粉じん濃度       | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁)   | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |                 |                |

# 受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/6	(稼働前)	17	7.5	ND	17	22	ND
2019/3/7 ~2019/7/4	(稼働後)※	15	11	ND	14	19	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/3/6 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機F	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：2.0Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：2.0Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/3 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①	7.4
②	7.1
③	7.9
④	1.9

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/3/6 ~2019/7/3 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
設備	(i) 集じん機②	ND
	(ii) 分別機	ND
	(iii) 集じん機①	ND
	(iv) ベルトコンベア	ND
	(v) 改質材貯留サイロ	ND
	(vi) 集じん機③	ND
	(vii) 破袋機	ND

表面汚染密度検出下限値：1.00Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

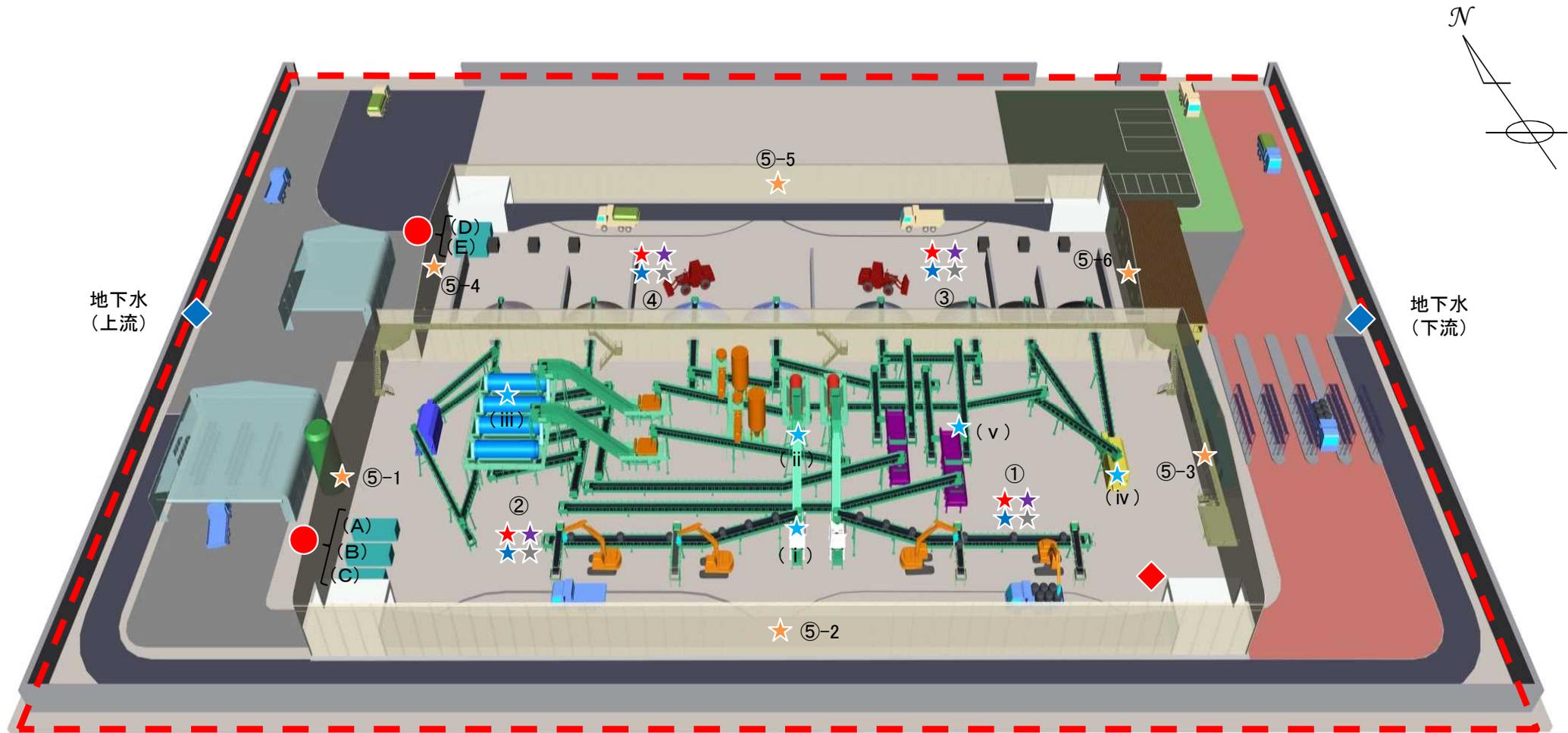
限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/3 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.25	0.28
②	0.19	0.28
③	0.20	0.26
④	0.25	0.43
⑤	0.26	0.35

# 双葉工区 受入・分別施設のモニタリング結果（月次測定）

# 受入・分別施設（双葉①工区、第1期）のモニタリング測定地点（月次測定）



## 凡例

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度   | ◆ : 排水中の放射能濃度  |
| ★ : 粉じん濃度       | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁)   | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |                 |                |

# 受入・分別施設（双葉①工区、第1期）のモニタリング測定結果（月次測定）

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点		上流			下流		
測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND	49	30	ND
2019/3/7 ~2019/7/4	(稼働後)※	100	130	ND	54	92	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/14 ~2019/7/11 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134： $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137： $5.0 \times 10^{-7}$ Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/ $2 \times 10^{-3}$ +セシウム137の濃度/ $3 \times 10^{-3} \leq 1$

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/3/14 ~2019/7/11 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.6Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30 $\leq 1$

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/14 ~2019/7/11 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①受入 東	1.7
②受入 西	6.5
③搬出 東	0.4
④搬出 西	1.6

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/3/7 ~2019/7/8 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.72Bq/cm<sup>2</sup>

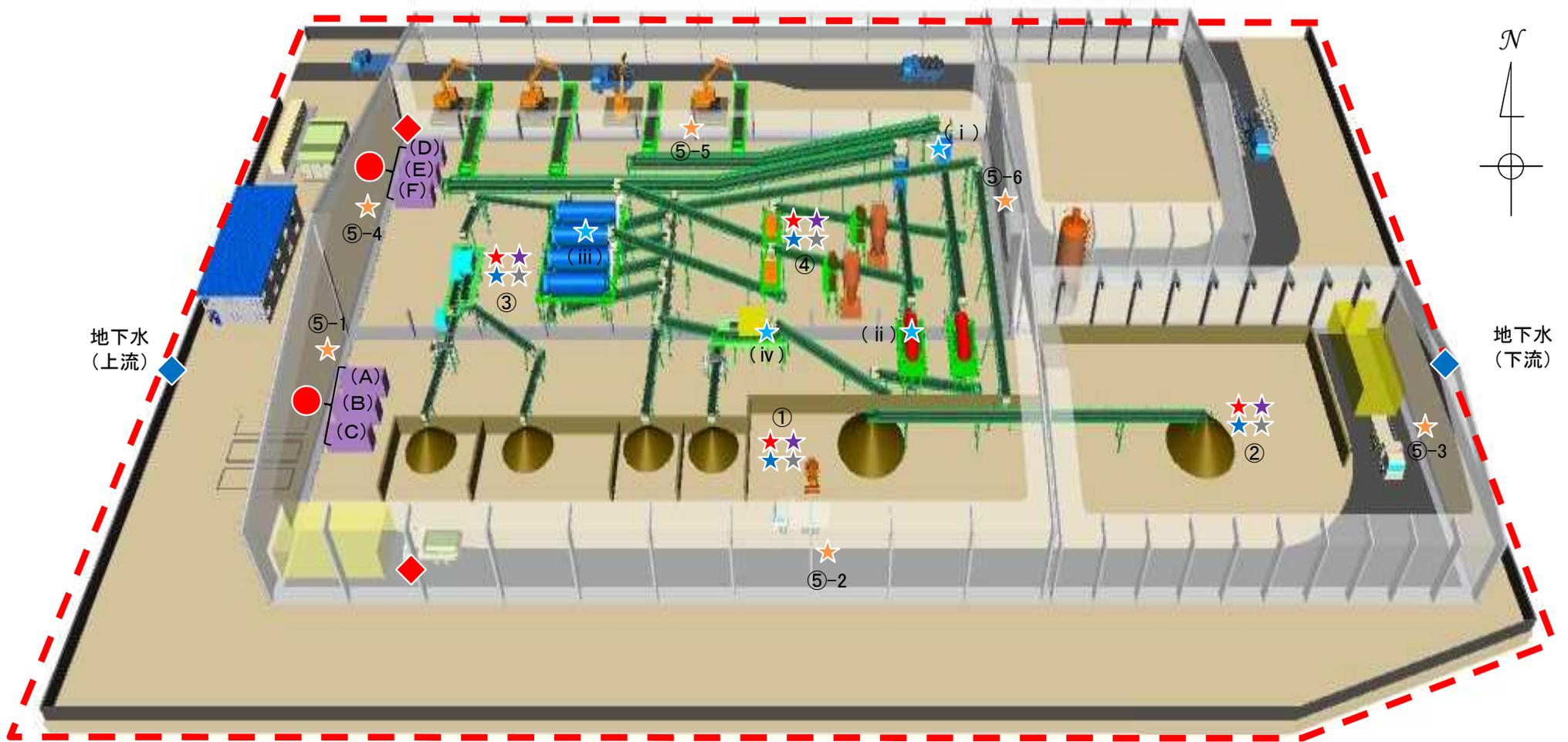
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/14 ~2019/7/11 空間線量率 ( $\mu$ Sv/h)	
	最小値	最大値
①受入 東	0.07	0.07
②受入 西	0.07	0.07
③搬出 東	0.06	0.06
④搬出 西	0.12	0.12

# 受入・分別施設（双葉①工区、第2期）のモニタリング測定地点（月次測定）



## 凡例

- |                 |                 |                |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度   | ◆ : 排水中の放射能濃度  |
| ★ : 粉じん濃度       | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度  |
| ★ : 表面汚染密度(床)   | ★ : 表面汚染密度(壁)   | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線     |                 |                |

# 受入・分別施設（双葉①工区、第2期）のモニタリング測定結果（月次測定）

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/3	(稼働前)	34	9.7	ND	47	12	ND
2019/3/6 ~2019/7/3	(稼働後)※	51	67	ND	89	140	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/4 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①搬出 西	ND
②搬出 東	ND
③受入 西	ND
④受入 東	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/3/15 ~2019/7/11 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E※	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機F	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：0.6Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/4 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①搬出 西	1.2
②搬出 東	1.2
③受入 西	3.0
④受入 東	2.2

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/3/26 ~2019/7/27 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①搬出 西	ND
	②搬出 東	ND
	③受入 西	ND
	④受入 東	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.74Bq/cm<sup>2</sup>

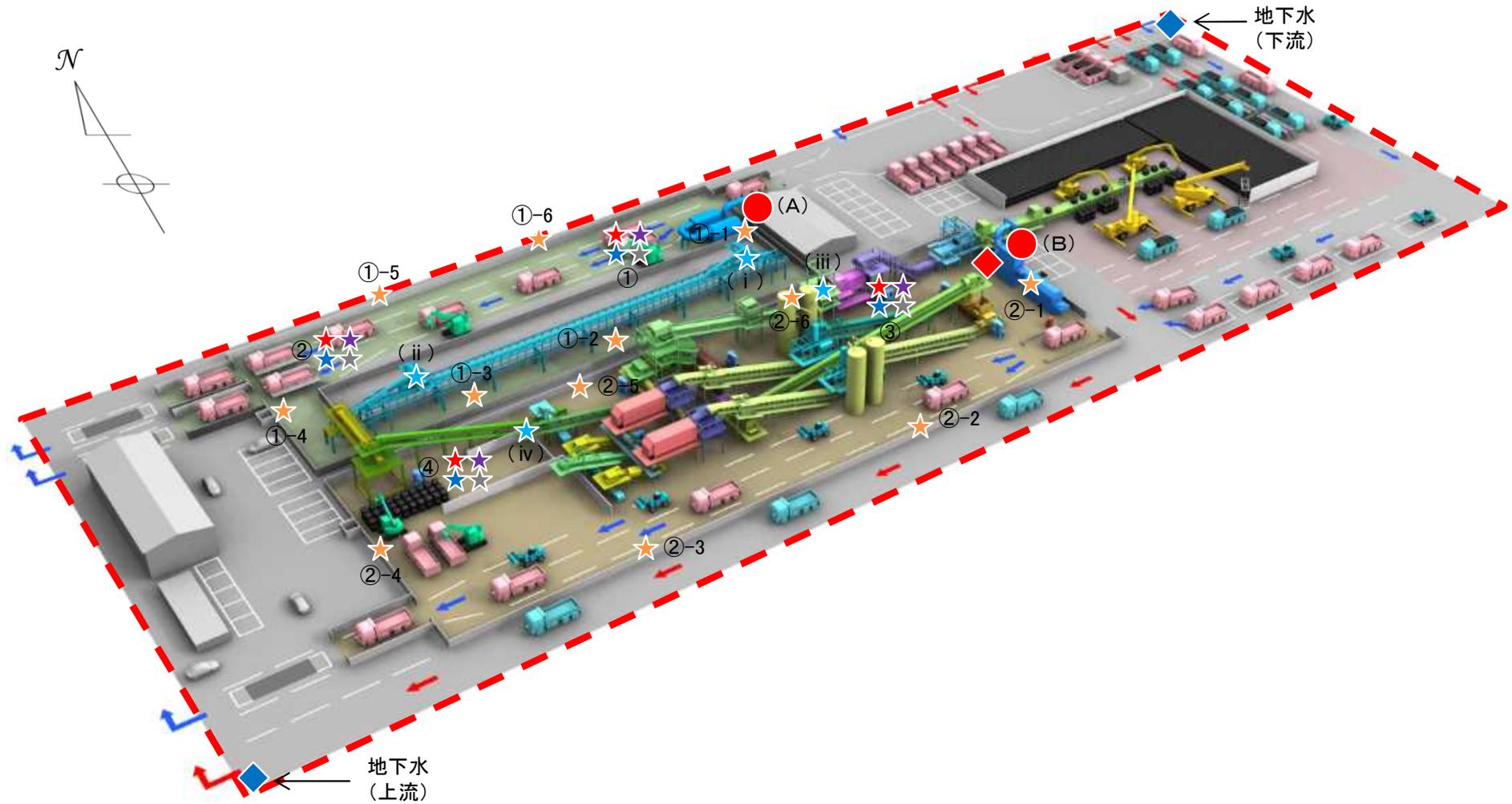
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/4 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①搬出 西	0.15	0.16
②搬出 東	0.11	0.11
③受入 西	0.06	0.06
④受入 東	0.06	0.07

# 受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（月次測定）



凡例		
◆ : 地下水中の放射能濃度等	● : 排気中の放射能濃度	◆ : 排水中の放射能濃度
★ : 粉じん濃度	★ : 空間線量率(作業環境)	★ : 空気中の放射能濃度
★ : 表面汚染密度(床)	★ : 表面汚染密度(壁)	★ : 表面汚染密度(設備)
- - - : 敷地境界線		

# 受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（月次測定）

## ◆地下水中の放射能濃度等

測定日	測定地点	上流			下流		
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
2019/1/17	(稼働前)	47	10	ND	26	12	ND
2019/2/25 ~2019/7/3	(稼働後)※	59	13	ND	49	45	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

※期間中の最大値を示す。

## ●排気中の放射能濃度

測定地点		2019/2/25 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/m <sup>3</sup> )
集じん機A -1	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機A -2	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.3Bq/m<sup>3</sup>、ドレン部：1.2Bq/m<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/2/25 ~2019/7/3 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
①	0.10	0.12
②	0.16	0.23
③	0.16	0.23
④	0.20	0.27

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/2/25 ~2019/7/3 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
①	4.6
②	2.3
③	1.0
④	3.0

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/2/25 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
①	ND
②	ND
③	ND
④	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.7×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.7×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度（★床、★壁、★設備）

測定地点		2019/2/25 ~2019/7/3 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
床	①	ND
	②	ND
	③	ND
	④	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
	⑤-7	ND
	⑤-8	ND
	⑤-9	ND
	⑤-10	ND
	⑤-11	ND
	⑤-12	ND
設備	(i) 破袋機	ND
	(ii) 20mmφ-1"パイプ集合パイプ	ND
	(iii) トリッパ-コンベア	ND
	(iv) トリッパ-コンベア	ND

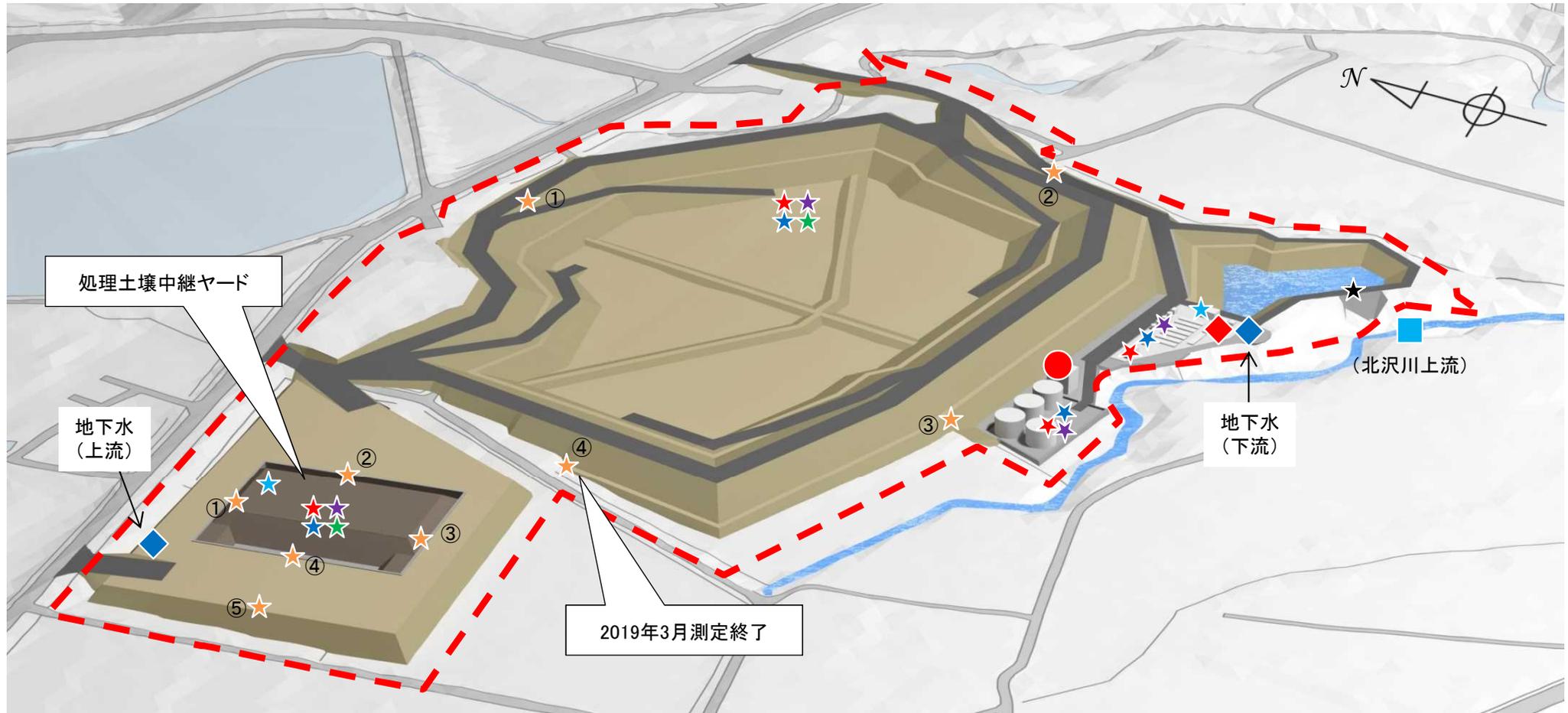
表面汚染密度検出下限値：0.70Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

大熊工区  
土壌貯蔵施設のモニタリング結果(月次測定)

# 土壤貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



## 凡例

- |                      |                       |                       |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ◆ : 地下水（井戸）中の電気伝導率等  | ● : 地下水（集排水設備）中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等 |
| ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量 | ■ : 放流先河川の放射能濃度       | ★ : 粉じん濃度             |
| ★ : 空間線量率（作業環境）      | ★ : 空気中の放射能濃度         | ★ : 表面汚染密度（貯蔵施設境界・壁）  |
| ★ : 表面汚染密度（設備）       | ★ : 表面汚染密度（重機）        | --- : 敷地境界線           |

# 土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

## ◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定日	測定地点	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2018/7/11	(稼働前)	240	8.1	32	9.5
2019/3/6	(稼働後) ※ ~2019/7/2	253	10	98	8.3

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定地点	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/3/6	(稼働後) ~2019/7/24	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND
2019/3/7	(稼働後) ~2019/7/17	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
		最小値	最大値			
2019/3/6	~2019/7/2	7.0	8.0	1.2~8.4	11~15	1~7

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/3/6	~2019/7/24	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)	
		最小値	最大値			
2019/3/1	~2019/7/30	567	0.0	4.7	ND	16976

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2019/3/6	~2019/7/2	11

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/11	(稼働前)	ND	ND
2019/3/6	(稼働後) ~2019/7/2	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/2 粉じん濃度※ (mg/m³)
貯蔵エリア	0.8
浸出水調整設備	0.2
浸出水処理設備	0.3
処理土壌中継ヤード	1.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/5 ~2019/7/3 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア	0.29	0.41
浸出水調整設備	0.36	0.39
浸出水処理設備	0.12	0.15
処理土壌中継ヤード	0.31	0.38

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/5 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水調整設備	ND
浸出水処理設備	ND
処理土壌中継ヤード	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度（★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点		2019/3/6 ~2019/7/11 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①	ND	
	②	ND	
	③	ND	
	④	ND	
	⑤	ND	
浸出水処理設備	設備 汚泥脱水機	ND	
処理土壌中継ヤード	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
		④	ND
	設備	バルコニー出口	ND
		重機 タイヤシヨベル①	ND
		タイヤシヨベル②	ND
		バックホウ	ND
貯蔵エリア	重機	ローラー①	ND
		ブルドーザー①	ND
		バックホウ②	ND
		ブルドーザー②	ND
		バックホウ③	ND
		バックホウ④	ND

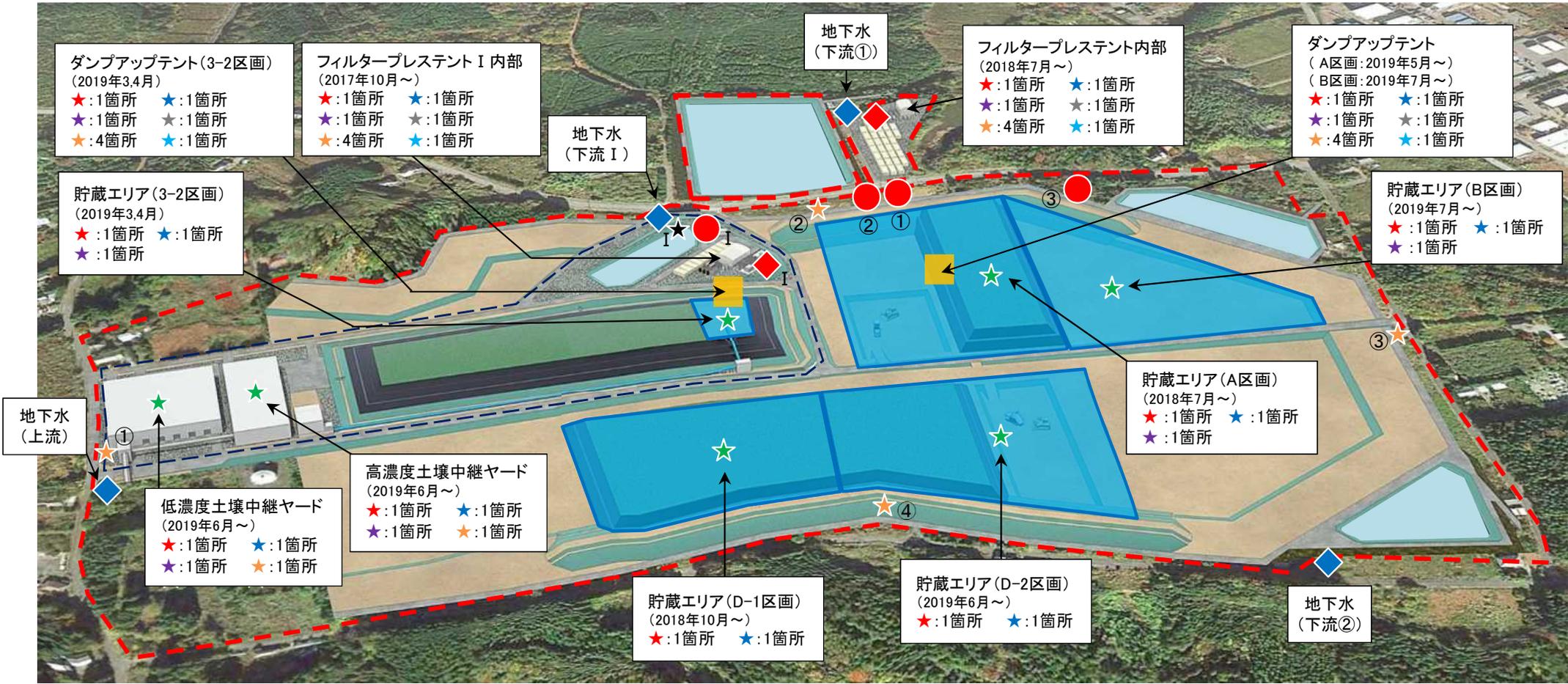
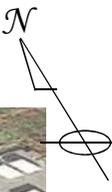
表面汚染密度検出下限値：0.40Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）①

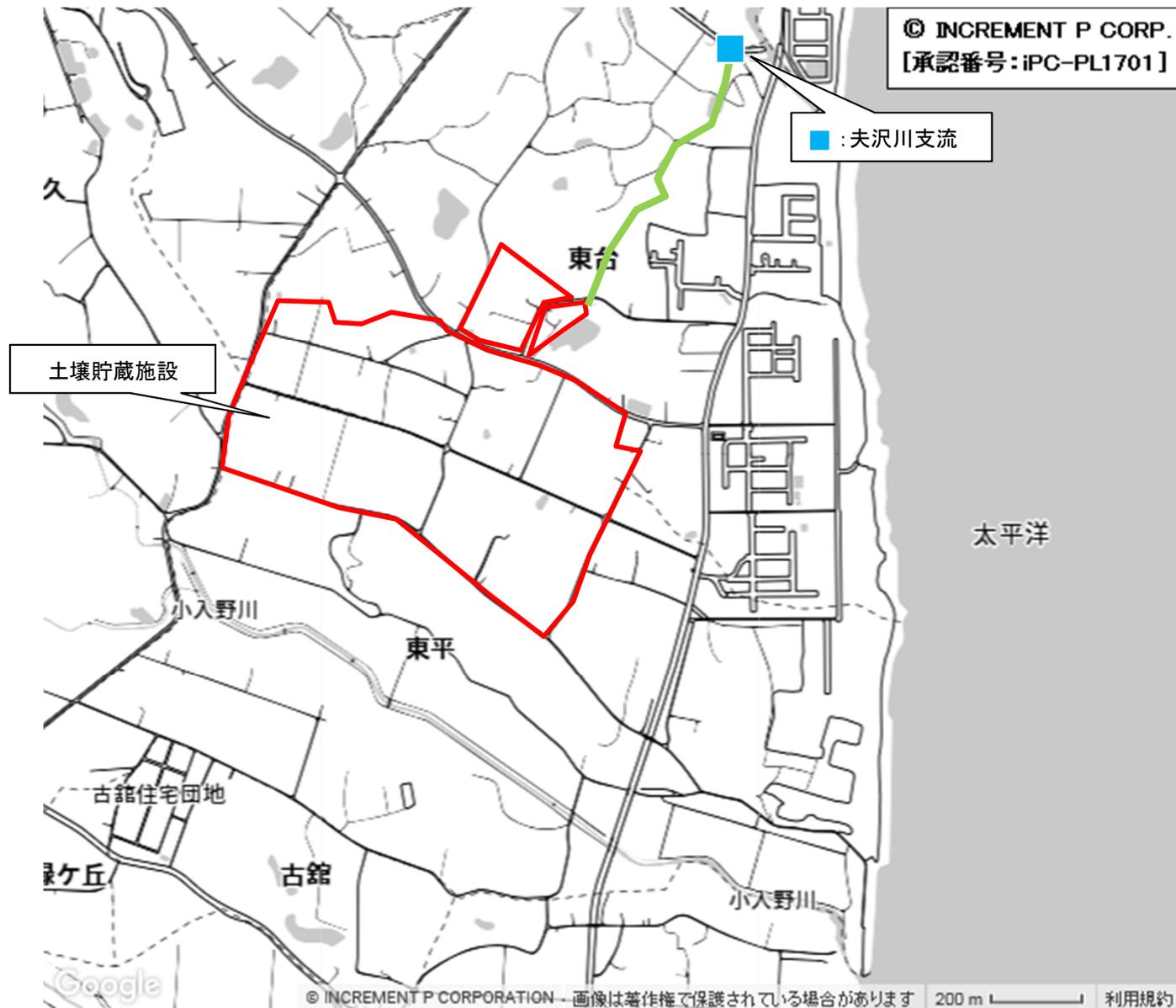
■ (P.22参照)



## 凡例

- ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質
- ★ : 空間線量率(作業環境)
- ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)
- : 敷地境界線
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★ : 空気中の放射能濃度
- ★ : 表面汚染密度(設備)
- : 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設境界
- ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★ : 粉じん濃度
- ★ : 表面汚染密度(床)
- ★ : 表面汚染密度(重機)

# 土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）②



- 凡例
- : 河川水観測地点
  - : 沈砂池・浸出水処理施設の放流水の流路

# 土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

## ◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②		下流I*	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)						
測定日		13	13	23	13	17	5.7	19	6.5
2018/7/10,11 (稼働前)		12	12	23	13	21	18	32	15
2019/3/7 ~2019/7/4 (稼働後) ※									

※期間中の最大値を示す。  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の下流井戸。稼働前測定日は2017/10/11。

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	上流		下流①		下流②		下流I*	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)						
測定日		ND							
2018/7/10,11 (稼働前)		ND							
2019/3/7 ~2019/7/25 (稼働後)		ND							

放射能濃度検出下限値：1Bq/L  
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の下流井戸。稼働前測定日は2017/10/11。

## ●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定地点	測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
集排水設備①	2018/7/5 (稼働前)		ND
	2019/3/15 (稼働後) ~2019/7/4		ND
集排水設備②	2018/10/15 (稼働前)		ND
	2019/3/15 (稼働後) ~2019/7/4		ND
集排水設備③	2019/6/26 (稼働前)		ND
	2019/7/18 (稼働後)		ND
集排水設備I*	2017/10/5 (稼働前)		ND
	2019/3/7 (稼働後) ~2019/7/4		ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L  
NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の集排水設備。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定地点	測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)		化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
			最小値	最大値	1.3~33	6.4~49	ND~3	
処理水	2019/3/7 ~2019/7/4		6.7	7.8	1.3~33	6.4~49	ND~3	
処理水I*	2019/3/7 ~2019/7/4		7.4	8.2	0.6~7.4	12~19	ND~1	

pH基準：5.8~8.6、BOD基準：60mg/L、COD基準：90mg/L、SS基準：60mg/L  
浮遊物質量 (SS) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の浸出水処理施設放流水。

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	処理水		測定地点	測定項目	処理水I*	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)			Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日		ND	ND	測定日		ND	ND
2019/3/7		ND	ND	2019/3/7		ND	ND
2019/3/14		ND	1.2	2019/3/14		ND	1.1
2019/3/21		ND	ND	2019/3/21		ND	ND
2019/3/28		ND	1.3	2019/3/28		ND	1.4
2019/4/4		ND	ND	2019/4/4		ND	ND
2019/4/11		ND	1.0	2019/4/11 ~2019/4/18		ND	ND
2019/4/18		ND	ND	2019/4/25		ND	1.7
2019/4/25		ND	1.1	2019/4/29		ND	1.6
2019/5/2 ~2019/6/6		ND	ND	2019/5/9		ND	ND
2019/6/13		ND	2.6	2019/5/16		ND	1.1
2019/6/20		ND	ND	2019/5/23		ND	ND
2019/6/27 ~2019/6/27		ND	ND	2019/5/30		ND	1.4
2019/7/4 ~2019/7/18		ND	ND	2019/6/6		ND	1.3
2019/7/25		ND	1.1	2019/6/13		ND	ND
				2019/6/20		ND	1.1
				2019/6/27		ND	ND
				2019/7/4 ~2019/7/18		ND	ND
				2019/7/25		ND	1.0

放射能濃度検出下限値：1Bq/L  
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。  
放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の浸出水処理施設放流水。

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

測定地点	放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
			最小値	最大値		
処理水	2019/3/1 ~2019/7/31	813	0.0	4.9	ND	23777.3
処理水I*	2019/3/2 ~2019/7/31	121	0.0	4.0	ND	2994.2

濁度管理値：5.0以下  
放射性セシウム管理値：ND  
NDとは、検出下限値 (5.85Bq/L) 未満であることを示す。  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の浸出水処理施設放流水。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
		沈砂池①	沈砂池I*
2019/3/7 ~2019/7/4			39
2019/3/7 ~2019/7/4			14

SS基準：60mg/L  
浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L  
※期間中の最大値を示す。  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の沈砂池。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/7/10 (稼働前)		ND	5.0
2019/3/1 (稼働後)		ND	1.1
2019/4/4 (稼働後)		ND	3.4
2019/5/9 (稼働後)		ND	3.7
2019/6/6 (稼働後)		ND	4.7
2019/7/10 (稼働後)		ND	3.0

放射能濃度検出下限値：1Bq/L  
NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。  
放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度 / 60 + セシウム137の濃度 / 90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/7 ~2019/7/25
	粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンパアップテント (A,B区画)	3.1
ダンパアップテント (3-2区画)	1.8
フィルタープレステント	0.2
フィルタープレステントI*	0.4
低濃度土壌中継ヤード	1.1
高濃度土壌中継ヤード	1.2
貯蔵エリア (A区画)	0.8
貯蔵エリア (B区画)	0.4
貯蔵エリア (D-1区画)	1.0
貯蔵エリア (D-2区画)	0.3
貯蔵エリア (3-2区画)	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³  
※期間中の最大値を示す。  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設のフィルタープレステント。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/15 ~2019/7/10
	空間線量率 (μSv/h)
ダンパアップテント (A,B区画)	0.26 0.34
ダンパアップテント (3-2区画)	0.35 0.73
フィルタープレステント	0.27 1.25
フィルタープレステントI*	0.32 1.52
低濃度土壌中継ヤード	0.49 0.50
高濃度土壌中継ヤード	0.88 1.32
貯蔵エリア (A区画)	0.57 3.73
貯蔵エリア (B区画)	3.26 3.26
貯蔵エリア (D-1区画)	0.56 0.79
貯蔵エリア (D-2区画)	0.53 1.02
貯蔵エリア (3-2区画)	3.30 3.33

\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設のフィルタープレステント。

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/15 ~2019/7/10
	放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンパアップテント (A,B区画)	ND
ダンパアップテント (3-2区画)	ND
フィルタープレステント	ND
フィルタープレステントI*	ND
低濃度土壌中継ヤード	ND
高濃度土壌中継ヤード	ND
貯蔵エリア (A区画)	ND
貯蔵エリア (B区画)	ND
貯蔵エリア (3-2区画)	ND

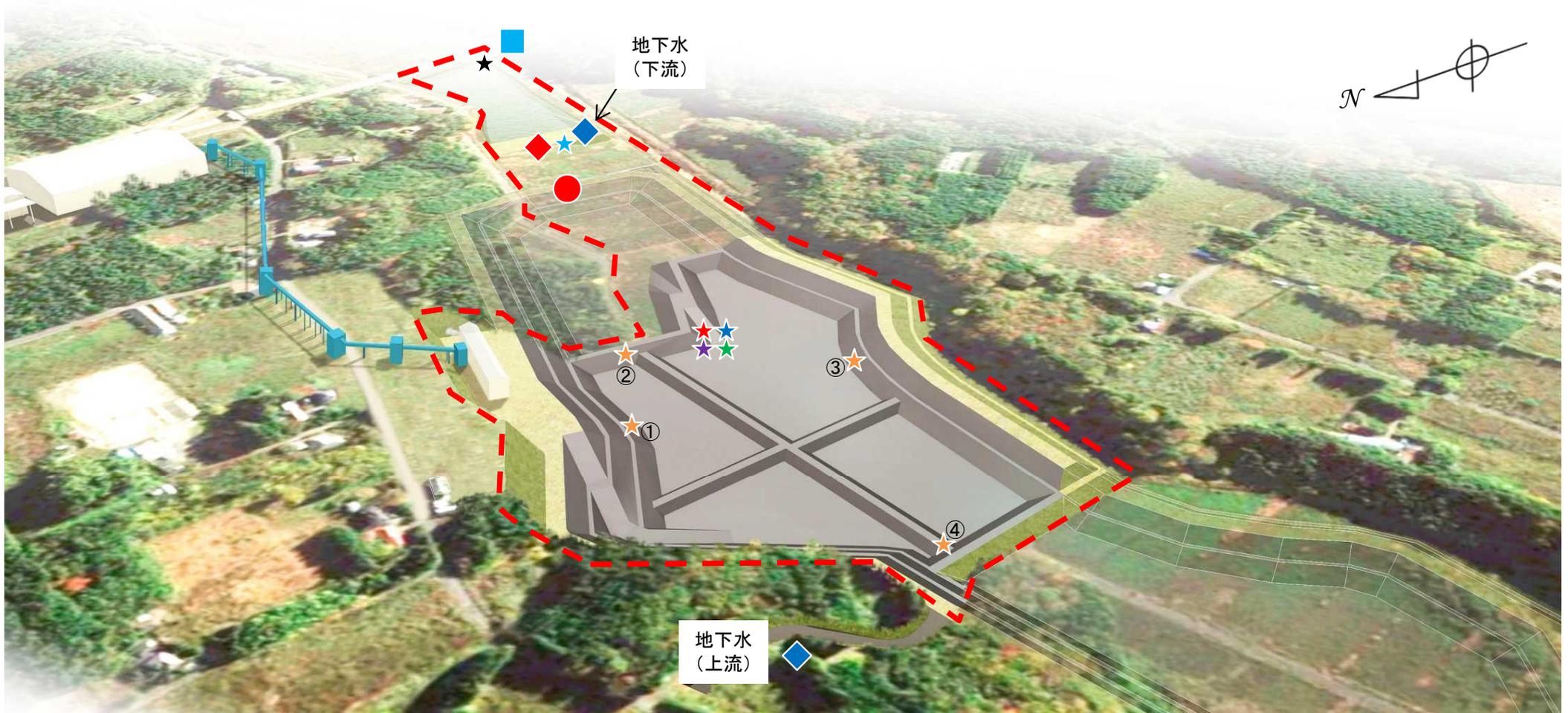
放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-4</sup>Bq/cm³、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³  
NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。  
放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度 / 2×10<sup>-4</sup> + セシウム137の濃度 / 3×10<sup>-7</sup> ≤ 1  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設のフィルタープレステント。

## 表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点	2019/3/15 ~2019/7/10		
		表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
ダンパアップテント (A,B区画)	床	AB-①	ND
	壁	AB-①	ND
		AB-②	ND
		AB-③	ND
ダンパアップテント (3-2区画)	床	AB-④	ND
	壁	ペリトコンベア	ND
		(3-2) -1①	ND
		(3-2) -1②	ND
フィルタープレステント	床	(3-2) -1③	ND
	壁	(3-2) -1④	ND
		(3-2) -1⑤	ND
		(3-2) -1⑥	ND
フィルタープレステントI*	床	ペリトコンベア	ND
	壁	①	ND
		②	ND
		③	ND
低濃度土壌中継ヤード	設備	④	ND
		フィルタープレス	ND
		I-①	ND
		I-②	ND
高濃度土壌中継ヤード	壁	I-③	ND
		I-④	ND
		I-⑤	ND
		I-⑥	ND
貯蔵エリア (A区画)	設備	フィルタープレスI	ND
		①	ND
		②	ND
		③	ND
貯蔵エリア (B区画)	設備	④	ND
		バックホウ	ND
		ホイールローダー	ND
		①	ND
貯蔵エリア (D-1区画)	壁	②	ND
		③	ND
		④	ND
		⑤	ND
貯蔵エリア (D-2区画)	壁	⑥	ND
		バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
貯蔵エリア (3-2区画)	壁	ブルドーザーA-①	ND
		ブルドーザーA-②	ND
		ローラーB	ND
		ブルドーザーB-①	ND
貯蔵エリア (3-2区画)	壁	ブルドーザーD-①	ND
		ローラーD	ND
		ブルドーザーD-②	ND
		ブルドーザーD-③	ND
貯蔵エリア (3-2区画)	壁	バックホウD2-①	ND
		バックホウD2-②	ND
		ローラーD2	ND
		スクレーパーD2-①	ND
貯蔵エリア (3-2区画)	壁	スクレーパーD2-②	ND
		バックホウ (3-2) -①	ND
		ローラー (3-2)	ND
		ブルドーザー (3-2)	ND

表面汚染密度検出下限値：0.14Bq/cm²  
NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。  
限度：40Bq/cm²  
\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設のフィルタープレステント。

# 土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



## 凡例

- |                      |                       |                       |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等  | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等 |
| ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量 | ■ : 放流先河川の放射能濃度       | ★ : 粉じん濃度             |
| ★ : 空間線量率(作業環境)      | ★ : 空気中の放射能濃度         | ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界)    |
| ★ : 表面汚染密度(設備)       | ★ : 表面汚染密度(重機)        | --- : 敷地境界線           |

# 土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

## ◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点 測定日	測定項目	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2018/9/18,25 (稼働前)		15	7.9	90	130
2019/3/7 ~2019/7/4 (稼働後) ※		14	12	270	160

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点 測定日	測定項目	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18,25 (稼働前)		ND	ND	ND	ND
2019/3/7 ~2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/27 (稼働前)		ND
2019/3/13 ~2019/7/17 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2019/3/7 ~2019/7/4		6.7	7.7	ND~1.4	6.3~7.5	2~8

pH基準：5.8~8.6, BOD基準：60mg/L, COD基準：90mg/L, SS基準：60mg/L  
生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値 (0.5mg/L) 未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/3/7 ~2019/7/25		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m <sup>3</sup> )
		最小値	最大値		
2019/3/12 ~2019/7/31	1071	0.0	5.0	ND	27663.2

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2019/5/23 ~2019/7/8		14

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/18 (稼働前)		ND	1.2
2019/3/7 ~2019/5/9 (稼働後)		ND	ND
2019/6/6 (稼働後)		ND	1.1
2019/7/4 (稼働後)		ND	1.4

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ★粉じん濃度

測定地点	測定項目	2019/3/6 ~2019/7/3 粉じん濃度※ (mg/m <sup>3</sup> )
貯蔵エリア		1.5

定量下限値：0.1mg/m<sup>3</sup>、高濃度粉じんの下限値：10mg/m<sup>3</sup>

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/3 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア	0.38	0.65

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/3 放射能濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm<sup>3</sup>

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm<sup>3</sup>]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度（★貯蔵施設境界、★設備、★重機）

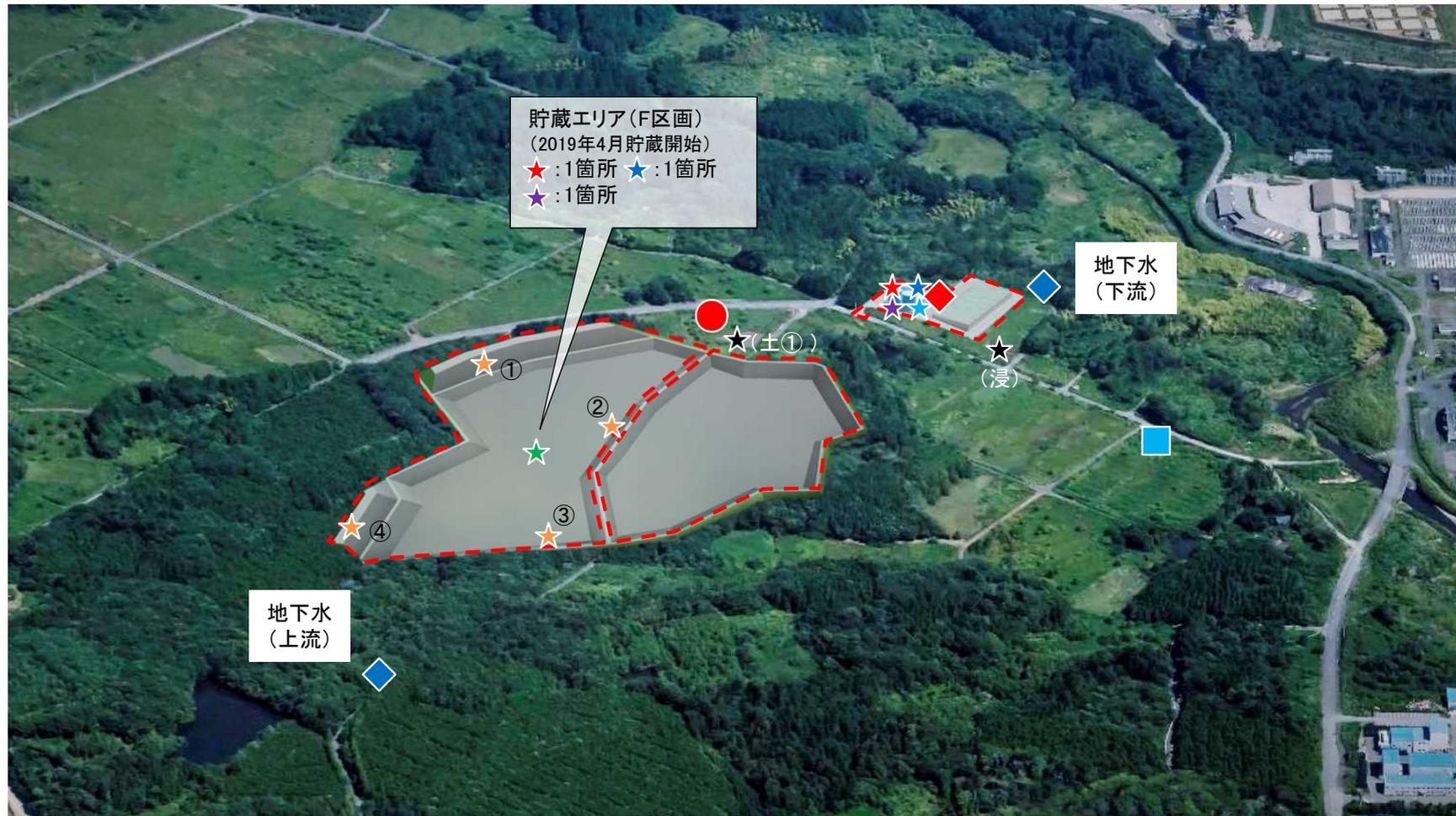
測定地点		2019/3/6 ~2019/7/3 表面汚染密度 (Bq/cm <sup>2</sup> )
貯蔵施設境界	①北	ND
	②東	ND
	③南	ND
	④西	ND
浸出水処理施設	設備	調整槽
	濁水処理設備	ND
	脱水プラント	ND
貯蔵エリア	重機	ブルドーザー
		バックホウ
		タイヤローラー
		振動ローラー

表面汚染密度検出下限値：1.00Bq/cm<sup>2</sup>

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm<sup>2</sup>

# 土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



## 凡例

- |                     |                       |                       |
|---------------------|-----------------------|-----------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等 | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度 | ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等 |
| ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質量 | ■ : 放流先河川の放射能濃度       | ★ : 粉じん濃度             |
| ★ : 空間線量率(作業環境)     | ★ : 空気中の放射能濃度         | ★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界)    |
| ★ : 表面汚染密度(設備)      | ★ : 表面汚染密度(重機)        | --- : 敷地境界線           |

# 土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

## ◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定日	測定地点	上流		下流	
		電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2019/4/18	(稼働前)	21	11	33	14
2019/4/26 ~2019/7/10	(稼働後) ※	21	11	37	26

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定地点	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/4/25 ~2019/7/25	(稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND
2019/4/26 ~2019/7/9	(稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質 (SS)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2019/4/27 ~2019/7/10		7.0	7.8	ND~1	4~8	1~10

pH基準：5.8~8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量 (BOD) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/25 ~2019/7/25		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/4/26 ~2019/7/31	311	0.0	21.0	ND	7090

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定地点	測定日	測定項目	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
沈砂池 (土①)	2019/4/26 ~2019/7/10		13
	2019/4/26 ~2019/7/10		13

SS基準：60mg/L

浮遊物質 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/18	(稼働前)	ND	ND
2019/4/26	(稼働後)	ND	4.3
2019/5/22	(稼働後)	ND	2.9
2019/6/12	(稼働後)	ND	1.3
2019/7/10	(稼働後)	ND	2.0

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60 + セシウム137の濃度/90 ≤ 1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/4/26 ~2019/7/10 粉じん濃度※ (mg/m³)
貯蔵エリア (F区画)	0.1
浸出水処理施設	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/4/27 ~2019/7/22 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
貯蔵エリア	1.09	1.40
浸出水処理施設	0.45	0.60

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/26 ~2019/7/10 放射能濃度 (Bq/cm³)
貯蔵エリア	ND
浸出水処理施設	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup> ≤ 1

## 表面汚染密度（★貯蔵施設境界、★設備、★重機）

測定地点		2019/4/27 ~2019/7/23 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	境界①	ND	
	境界②	ND	
	境界③	ND	
	境界④	ND	
浸出水処理施設	設備	濁水処理装置	ND
貯蔵エリア (F区画)	重機	バックホウA-①	ND
		バックホウA-②	ND
		ローラーA	ND
		ブルドーザーA-②	ND

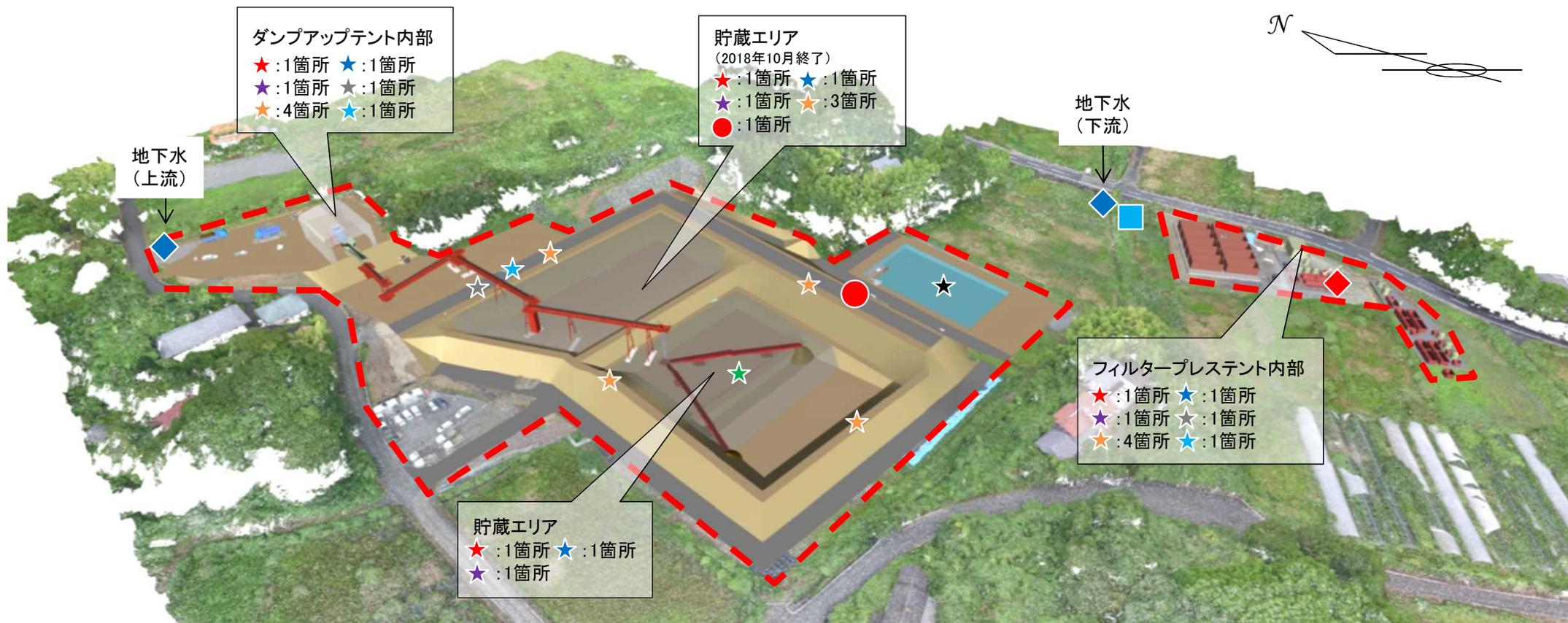
表面汚染密度検出下限値：0.30Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

双葉工区  
土壌貯蔵施設のモニタリング結果(月次測定)

# 土壤貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定地点（月次測定等）



凡例		
◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等	● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度	◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質	■ : 放流先河川の放射能濃度	★ : 粉じん濃度
★ : 空間線量率(作業環境)	☆ : 空気中の放射能濃度	★ : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下)
★ : 表面汚染密度(貯蔵施設境界・壁)	★ : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア)	★ : 表面汚染密度(重機)
--- : 敷地境界線		

# 土壌貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定結果（月次測定等）

## ◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点	上流		下流		
	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
測定日					
2017/11/23 (稼働前)		13	21	17	9.4
2019/3/7 ~2019/7/4 (稼働後) ※		18	10	20	9.4

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点	測定項目	上流		下流	
		Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日					
2017/11/23 (稼働前)		ND	ND	ND	ND
2019/3/7 ~2019/7/25 (稼働後)		ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	測定項目	放射能濃度 (Bq/L)
2017/12/7 (稼働前)		ND
2019/3/7 ~2019/7/5 (稼働後)		ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質量 (SS) (mg/L)
		最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2019/3/7 ~2019/7/4		7.6	8.4	1.0~2.3	11~20	ND~2

pH基準：5.8~8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

浮遊物質量 (SS) のNDとは、報告下限値 (1mg/L) 未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/3/7 ~2019/7/25		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/3/9 ~2019/7/28	114	0.0	4.0	ND	3965

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値 (6.5Bq/L) 未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	測定項目	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
2019/3/7 ~2019/7/4		17

SS基準：60mg/L

浮遊物質量 (SS) の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2017/11/2 (稼働前)		ND	ND
2019/3/7 ~2019/7/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/11 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンブアップテント	0.6
フィルタープレステント	0.2
貯蔵エリア	1.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/8 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンブアップテント	0.16	0.18
フィルタープレステント	0.15	0.16
貯蔵エリア中央	0.24	2.28

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/11 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

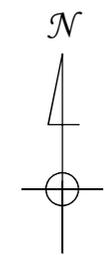
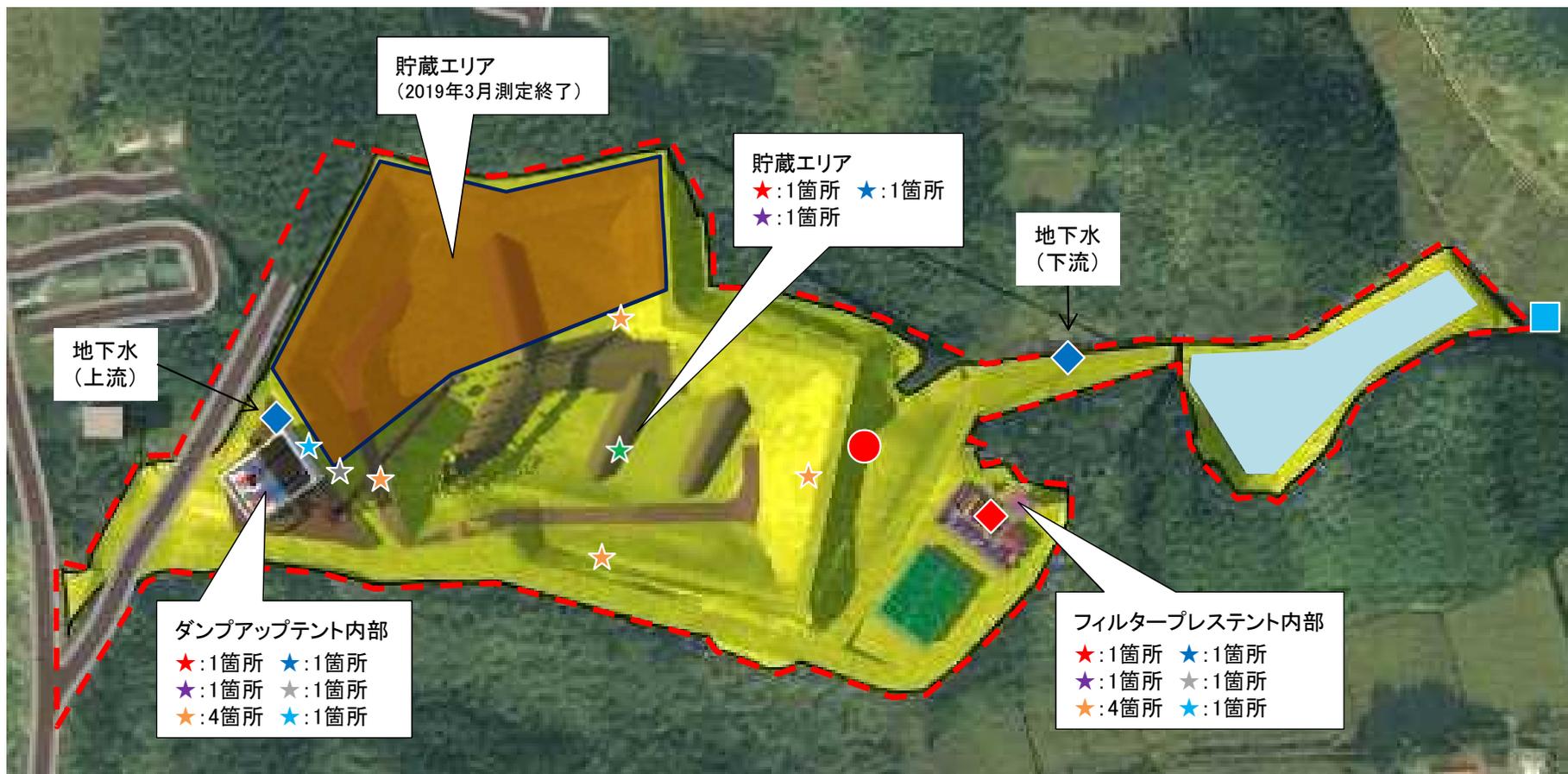
測定地点		2019/3/21 ~2019/7/15 表面汚染密度 (Bq/cm²)
貯蔵施設境界	境界東	ND
	境界西	ND
	境界南	ND
	境界北	ND
ダンブアップテント	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
フィルタープレステント	設備	ND
	床	ND
	東側(壁)	ND
	西側(壁)	ND
	南側(壁)	ND
	北側(壁)	ND
貯蔵エリア	設備	ND
	重機①	ND
	重機②	ND
	ベルトコンベア ベルトコン直下管理用道路	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定地点（月次測定等）



## 凡例

- |                       |                        |                         |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|
| ◆ : 地下水(井戸)中の電気伝導率等   | ● : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度  | ◆ : 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等   |
| ★ : 沈砂池からの放流水の浮遊物質質量  | ■ : 放流先河川の放射能濃度        | ★ : 粉じん濃度               |
| ★ : 空間線量率(作業環境)       | ★ : 空気中の放射能濃度          | ★ : 表面汚染密度(床、ベルトコンベア直下) |
| ★ : 表面汚染密度(貯蔵エリア境界・壁) | ★ : 表面汚染密度(設備、ベルトコンベア) | ★ : 表面汚染密度(重機)          |
| --- : 敷地境界線           | ■ : 土壌貯蔵完了部分           |                         |

# 土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定結果（月次測定等）

## ◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点 測定日	上流		下流	
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
2018/9/10 (稼働前)	100	6.8	19	11
2019/3/6 ~2019/7/3 (稼働後) ※	64	10	18	10

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点 測定日	上流		下流	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/10 (稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/3/6 ~2019/7/31 (稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2018/9/10 (稼働前)	ND
2019/3/13 ~2019/7/5 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	浮遊物質 (SS) (mg/L)
	最小値	最大値			
2019/3/6 ~2019/7/3	7.3	8.4	1.2~6.3	13~24	1~13

pH基準：5.8~8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/3/6 ~2019/7/31	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/3/8 ~2019/7/29	208	0.0	3.0	ND	7208

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質

測定日	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)
2019/3/6 ~2019/7/3	41

SS基準：60mg/L

浮遊物質（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND
2019/3/6 ~2019/7/3 (稼働後)	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≤1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/11 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンブアップテント	0.5
フィルタープレステント	0.2
貯蔵エリア	0.3

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/11 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンブアップテント	0.34	0.48
フィルタープレステント	0.21	0.30
貯蔵エリア中央	0.59	1.24

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/3/6 ~2019/7/11 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンブアップテント	ND
フィルタープレステント	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≤1

## 表面汚染密度（★床、★貯蔵エリア・壁、★設備、★重機）

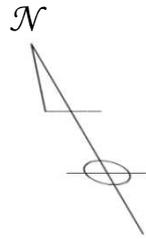
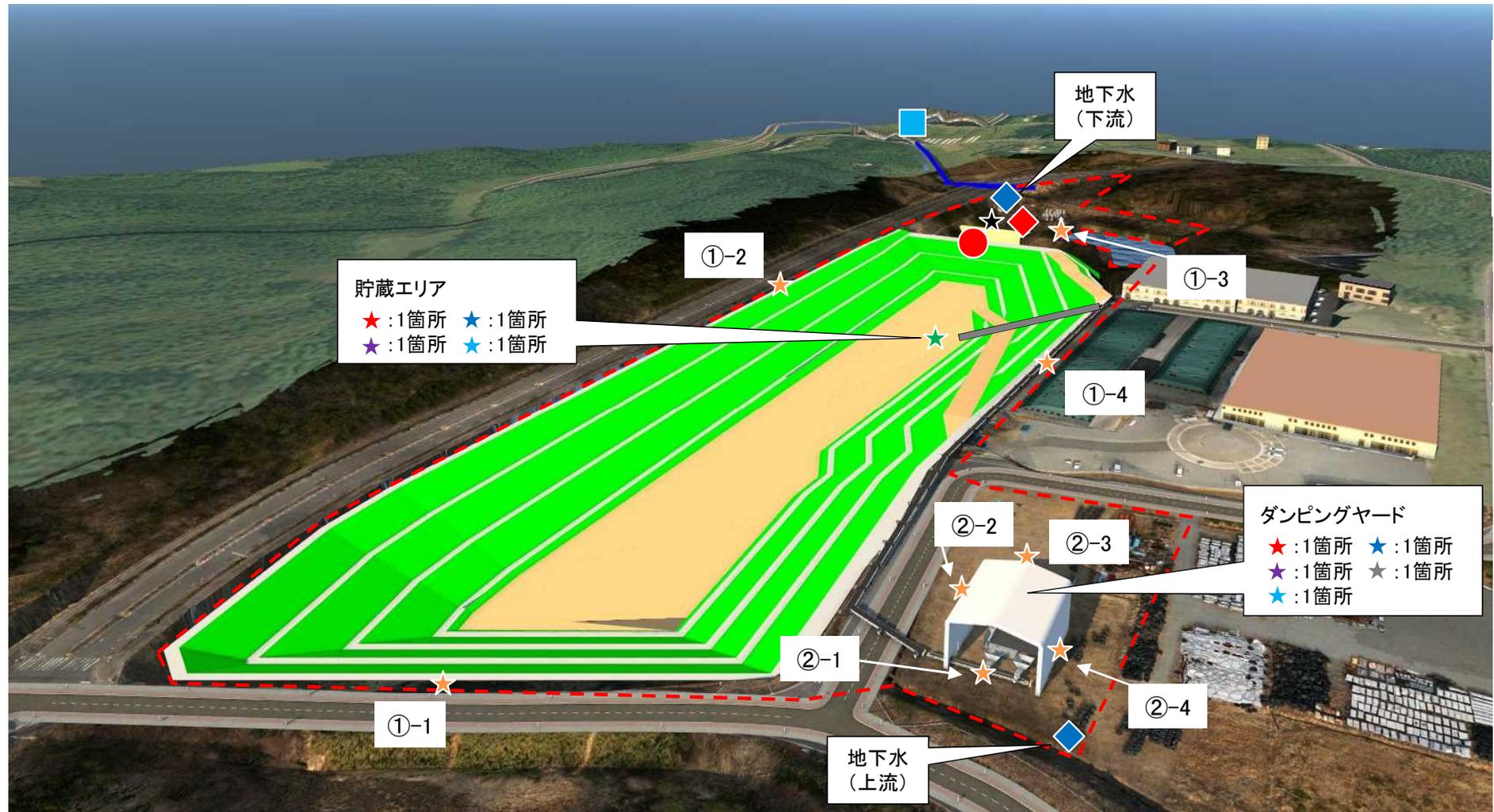
測定地点	2019/3/27 ~2019/7/27 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
ダンブアップテント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
フィルタープレステント	床	ND
	東側（壁）	ND
	西側（壁）	ND
	南側（壁）	ND
	北側（壁）	ND
貯蔵エリア	設備	ND
	床（ベルトコンベア直下）	ND
	境界（東側）	ND
	境界（西側）	ND
	境界（南側）	ND
	境界（北側）	ND
設備（ベルトコンベア）	ND	
重機	ND	

表面汚染密度検出下限値：0.78Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

# 土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（月次測定等）



## 凡例

- ◆: 地下水(井戸)中の電気伝導率等
- ★: 沈砂池からの放流水の浮遊物質量
- ★: 空間線量率(作業環境)
- ★: 表面汚染密度(床)
- : 敷地境界線
- : 地下水(集排水設備)中の放射能濃度
- : 放流先河川の放射能濃度
- ★: 空気中の放射能濃度
- ★: 表面汚染密度(設備)
- ◆: 浸出水処理施設放流水の放射能濃度等
- ★: 粉じん濃度
- ★: 表面汚染密度((貯蔵施設境界・壁)
- ★: 表面汚染密度(重機)

# 土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（月次測定等）

## ◆地下水（井戸）中の電気伝導率等

測定地点 測定項目	上流		下流	
	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)
測定日 2019/5/8 (稼働前)	61	8	18	10
2019/5/28 ~2019/7/4 (稼働後) ※	57	8	17	10

※期間中の最大値を示す。

## ◆地下水（井戸）中の放射能濃度（週次測定）

測定地点 測定項目	上流		下流	
	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
測定日 2019/5/8 (稼働前)	ND	ND	ND	ND
2019/5/21 ~2019/7/25 (稼働後)	ND	ND	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

## ●地下水（集排水設備）中の放射能濃度

測定日	放射能濃度 (Bq/L)
2019/5/21 (稼働前)	ND
2019/5/28 ~2019/7/4 (稼働後)	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の環境項目

測定日	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質量 (SS)
	最小値	最大値	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
2019/6/6 ~2019/7/4	7.1	7.3	ND~2	4~9	1~4

pH基準：5.8~8.6，BOD基準：60mg/L，COD基準：90mg/L，SS基準：60mg/L

生物化学的酸素要求量（BOD）のNDとは、報告下限値（1mg/L）未満であることを示す。

## ◆浸出水処理施設放流水の放射能濃度（週次測定）

測定日	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/6/6 ~2019/7/25	ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ◆浸出水処理施設放流水の自動測定結果

放流日	放流回数	濁度		放射性セシウム (Bq/L)	放流量 (m³)
		最小値	最大値		
2019/5/29 ~2019/7/31	162	0.0	4.0	ND	5016.7

濁度管理値：5.0以下

放射性セシウム管理値：ND

NDとは、検出下限値（6.5Bq/L）未満であることを示す。

## ★沈砂池からの放流水の浮遊物質量

測定日	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)
2019/5/28 ~2019/7/4	24

SS基準：60mg/L

浮遊物質量（SS）の報告下限値：1mg/L

※期間中の最大値を示す。

## ■放流先河川の放射能濃度

測定日	測定項目	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
2019/4/24 (稼働前)		ND	ND
2019/5/28 ~2019/7/4 (稼働後)		ND	ND

放射能濃度検出下限値：1Bq/L

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/L]の基準：セシウム134の濃度/60+セシウム137の濃度/90≦1

## ★粉じん濃度

測定地点	2019/5/28 ~2019/7/4 粉じん濃度※ (mg/m³)
ダンピングヤード	1.6
貯蔵エリア	0.1

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

※期間中の最大値を示す。

## ★空間線量率（作業環境）

測定地点	2019/5/28 ~2019/7/4 空間線量率 (μSv/h)	
	最小値	最大値
ダンピングヤード	0.31	0.33
貯蔵エリア中央	0.19	0.21

## ★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/28 ~2019/7/4 放射能濃度 (Bq/cm³)
ダンピングヤード	ND
貯蔵エリア	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³、セシウム137：5.0×10<sup>-7</sup>Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10<sup>-3</sup>+セシウム137の濃度/3×10<sup>-3</sup>≦1

## 表面汚染密度（★床、★貯蔵施設境界・壁、★設備、★重機）

測定地点		2019/5/28 ~2019/7/4 表面汚染密度 (Bq/cm²)	
貯蔵施設境界	①-1	ND	
	①-2	ND	
	①-3	ND	
	①-4	ND	
ダンピングヤード	壁	②-1	ND
		②-2	ND
		②-3	ND
		②-4	ND
床		ND	
	設備	トラックホッパー	ND
貯蔵エリア	設備	法面ベルトコンベア	ND
	重機	バックホウ	ND

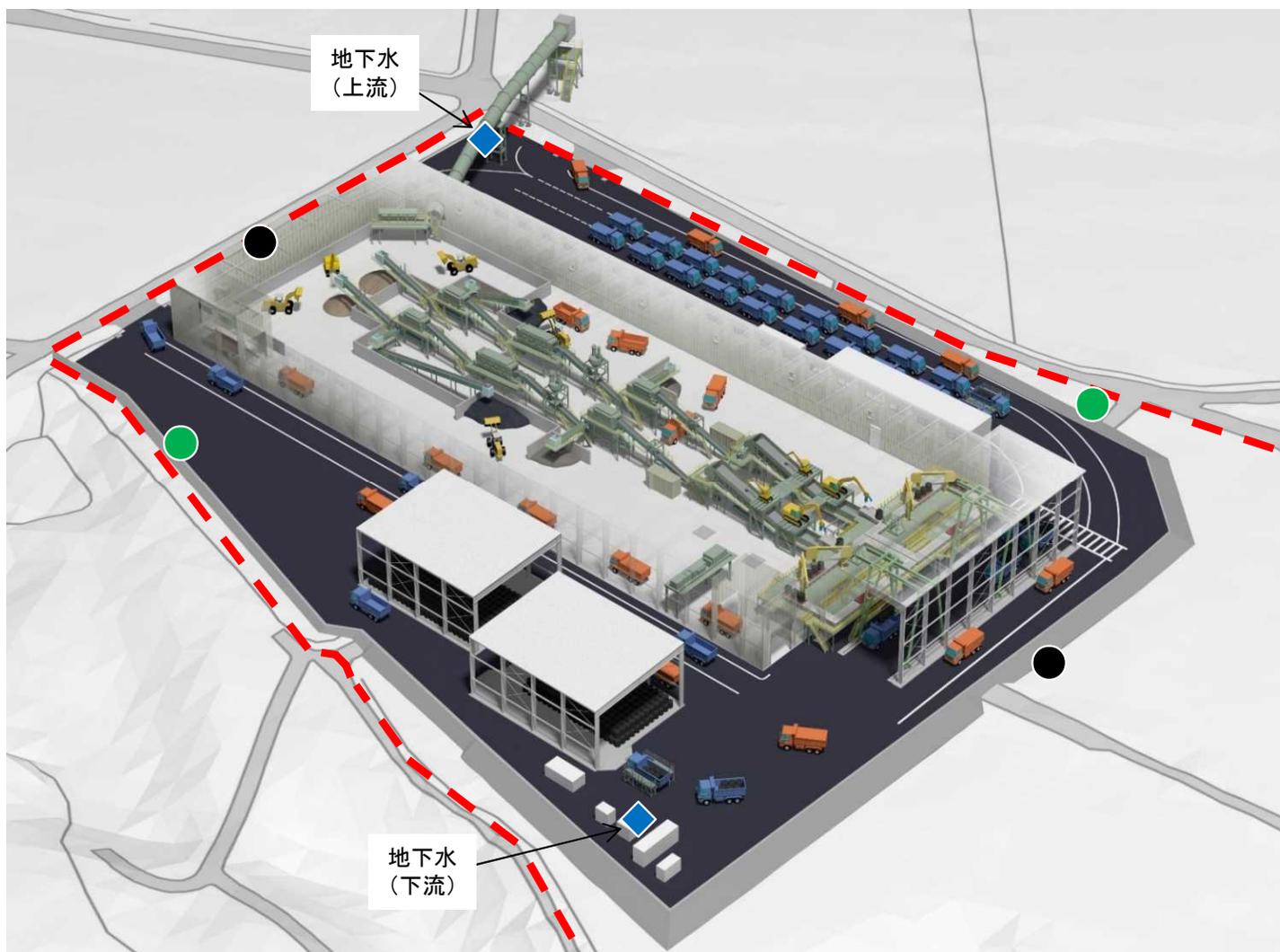
表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

# 大熊工区 受入・分別施設のモニタリング結果（年次測定）

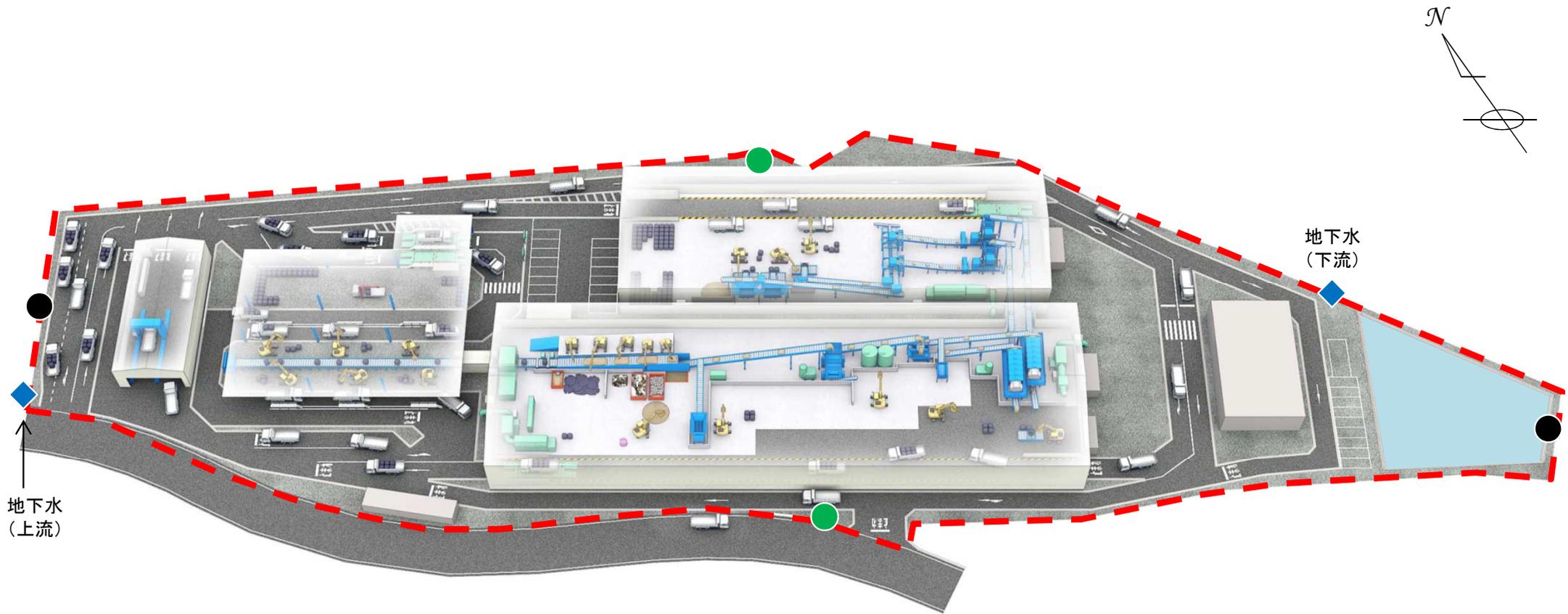
# 受入・分別施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



- 凡例
- : 騒音・振動
  - : 悪臭
  - ◆ : 地下水検査項目
  - : 敷地境界線

年次測定項目については、中間貯蔵施設環境安全委員会（第14回）でモニタリング結果を報告して以降、測定は実施していない。

# 受入・分別施設（大熊②工区、第1期）のモニタリング測定地点（年次測定）

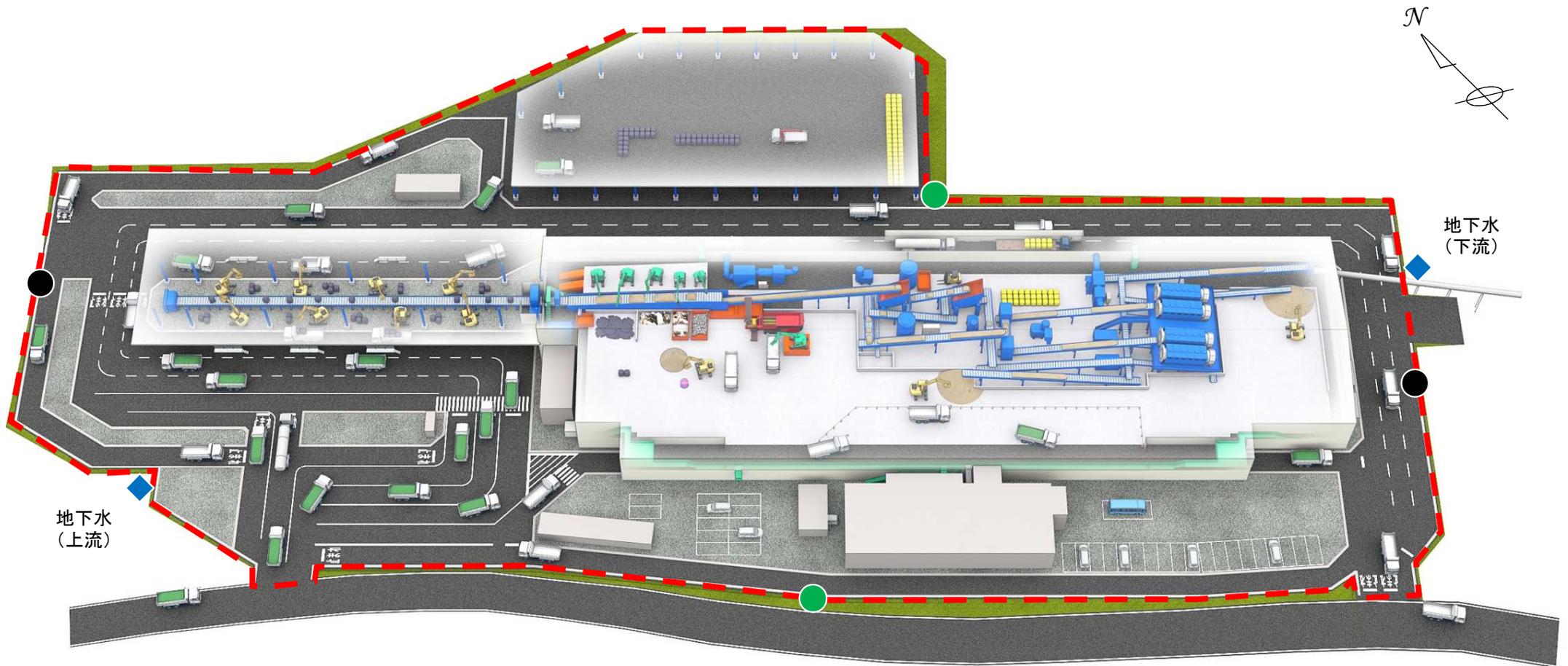


凡例

●	: 騒音・振動	●	: 悪臭	◆	: 地下水検査項目	---	: 敷地境界線
---	---------	---	------	---	-----------	-----	---------

年次測定項目については、中間貯蔵施設環境安全委員会(第14回)でモニタリング結果を報告して以降、測定は実施していない。

# 受入・分別施設（大熊②工区、第2期）のモニタリング測定地点（年次測定）



## 凡例

● : 騒音・振動

● : 悪臭

◆ : 地下水検査項目

--- : 敷地境界線

# 受入・分別施設（大熊②工区、第2期）のモニタリング測定結果（年次測定）

## ●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
			北側	南側
2018/6/13 (稼働前)			62	59
2019/6/5 (稼働後)			62	68

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
			北側	南側
2018/6/13 (稼働前)			52	40
2019/6/5 (稼働後)			50	47

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
			西側	東側
2018/6/13 (稼働前)			10未満 (風下)	10未満 (風上)
2019/6/6 (稼働後)			10未満 (風下)	10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水検査項目

測定地点	測定地点		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/6/13 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/6/13 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定地点		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/6/13 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

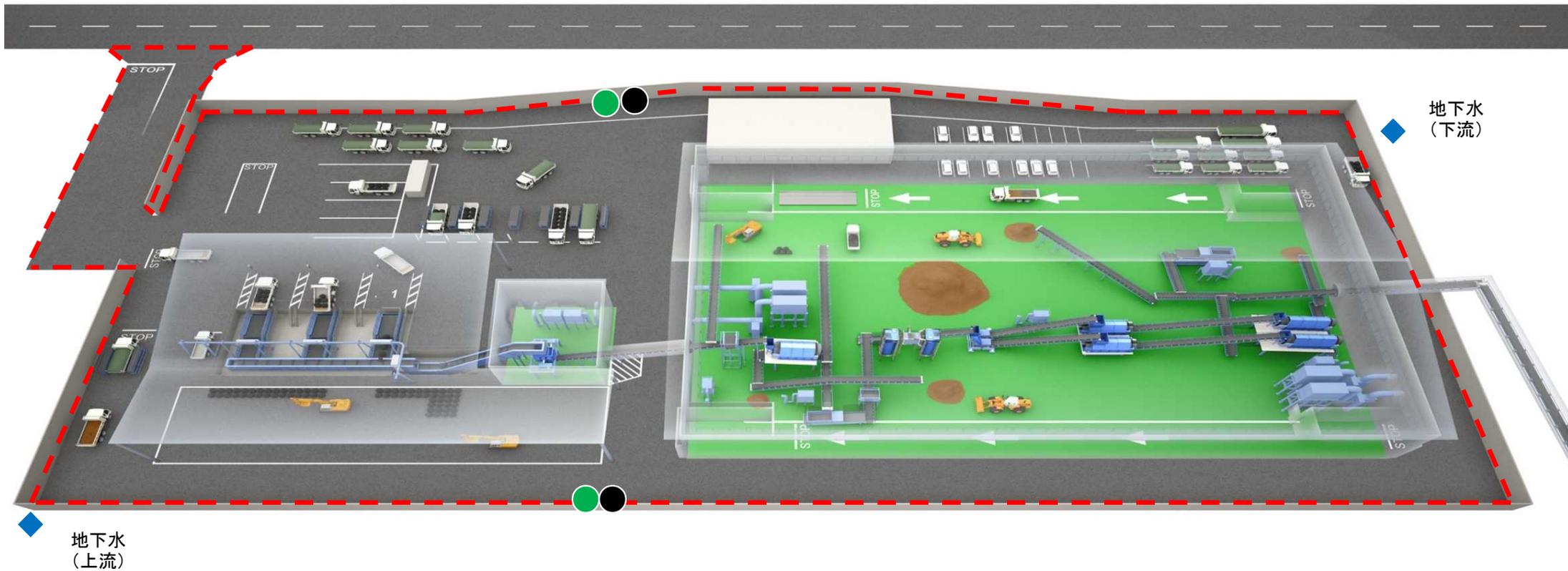
測定地点	測定地点		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/6/13 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/6/13 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/6/13 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		1以下
上流	2018/6/13 (稼働前)		0.057
	2019/6/6 (稼働後)		0.058
下流	2018/6/13 (稼働前)		0.057
	2019/6/6 (稼働後)		0.058

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



凡例			
●	騒音・振動	●	悪臭
◆	地下水検査項目	---	敷地境界線

# 受入・分別施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

## ●騒音

測定日	測定地点	騒音レベル (dB)	
		西側	東側
2018/7/6	(稼働前)	65	58
2019/6/7	(稼働後)	75	67

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点	振動レベル (dB)	
		西側	東側
2018/7/6	(稼働前)	30未満	30未満
2019/6/7	(稼働後)	43	41

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点	臭気指数	
		西側	東側
2018/7/6	(稼働前)	10未満（風上）	10未満（風下）
2019/6/6	(稼働後)	10未満（風下）	10未満（風上）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水検査項目

測定地点	測定日	測定項目	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	ガドリウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
			地下水環境基準				
上流	2018/7/6	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.001	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	不検出	ND	ND	0.003	ND

測定地点	測定日	測定項目	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
			地下水環境基準				
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	0.002	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
			地下水環境基準				
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
			地下水環境基準				
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

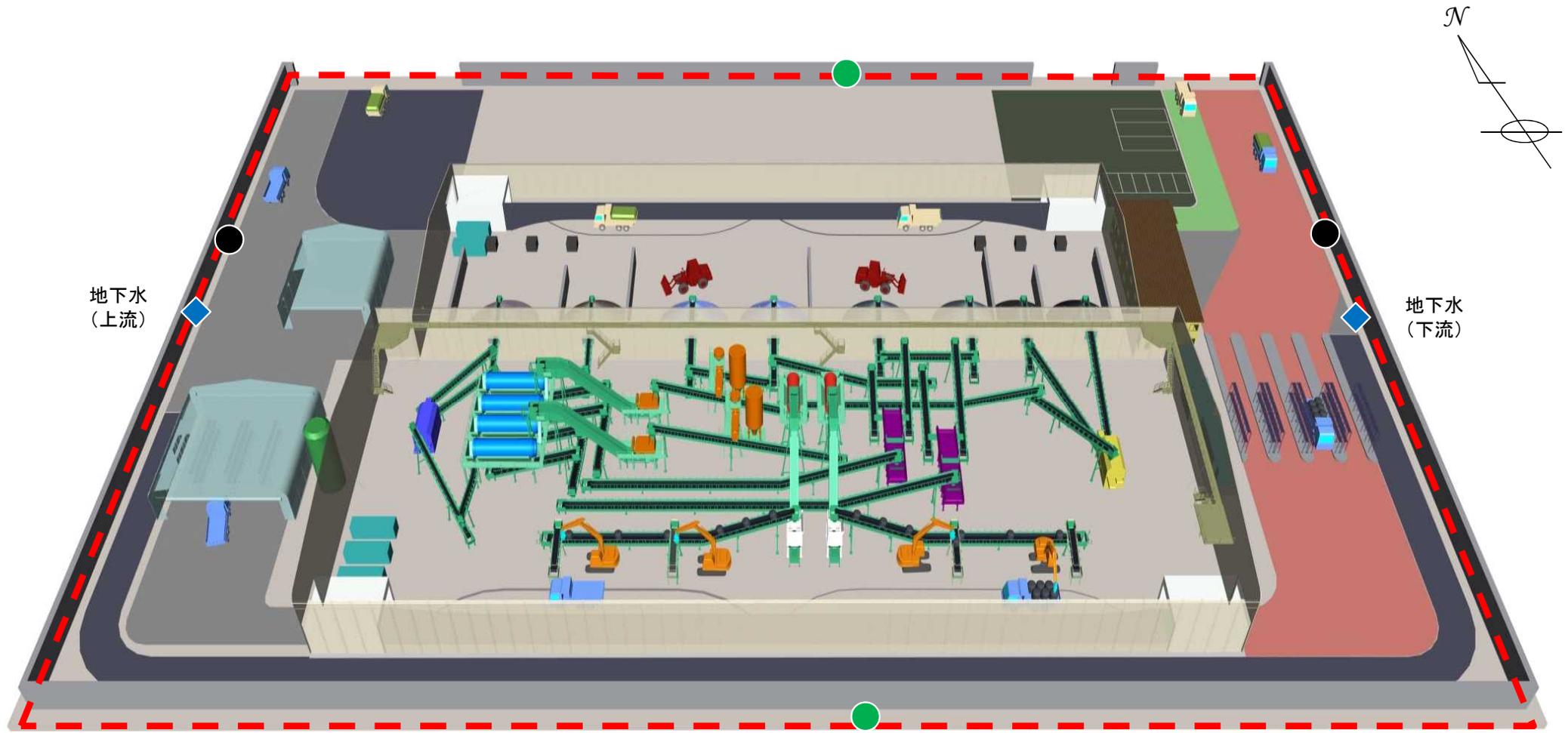
測定地点	測定日	測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
			地下水環境基準				
上流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/7/6	(稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6	(稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定項目	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
			地下水環境基準
上流	2018/7/6	(稼働前)	0.067
	2019/6/6	(稼働後)	0.051
下流	2018/7/6	(稼働前)	0.063
	2019/6/6	(稼働後)	0.086

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

双葉工区  
受入・分別施設のモニタリング結果（年次測定）

# 受入・分別施設（双葉①工区、第1期）のモニタリング測定地点（年次測定）



凡例			
●	: 騒音・振動	●	: 悪臭
◆	: 地下水検査項目	---	: 敷地境界線

# 受入・分別施設（双葉①工区、第1期）のモニタリング測定結果（年次測定）

## ● 騒音

測定日	騒音レベル (dB)	
	北側	南側
2017/5/21 (稼働前)	44	50
2019/5/23 (稼働後)	66	73

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ● 振動

測定日	振動レベル (dB)	
	北側	南側
2017/5/21 (稼働前)	30未満	30未満
2019/5/23 (稼働後)	55	51

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ● 悪臭

測定日	臭気指数	
	西側	東側
2017/5/21 (稼働前)	10未満 (風下)	10未満 (風上)
2019/5/23 (稼働後)	10未満 (風下)	10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆ 地下水検査項目

測定地点	測定地点		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日		検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2017/6/1 (稼働前)		不検出	ND	ND	0.001	ND
	2019/5/22 (稼働後)		不検出	ND	ND	0.001	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)		不検出	ND	ND	0.006	ND
	2019/5/22 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日		0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2017/6/1 (稼働前)		0.001	不検出	不検出	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)		0.007	不検出	不検出	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		0.019	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定地点		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日		0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2017/6/1 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

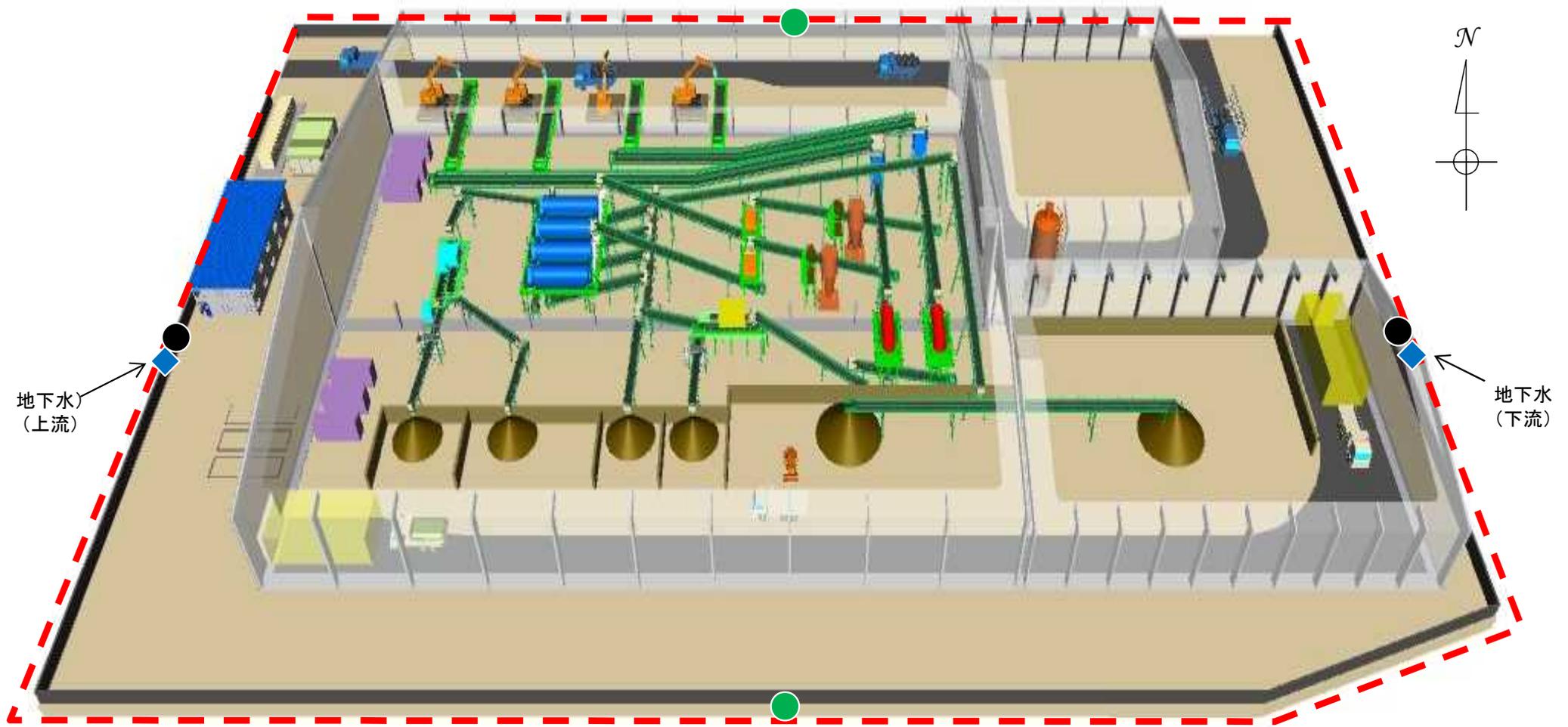
測定地点	測定地点		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日		1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2017/6/1 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日		0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2017/6/1 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/22 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日		1以下
上流	2017/6/1 (稼働前)		0.066
	2019/5/15 (稼働後)		0.18
下流	2017/6/1 (稼働前)		0.21
	2019/5/15 (稼働後)		0.062

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 受入・分別施設（双葉①工区、第2期）のモニタリング測定地点（年次測定）



# 受入・分別施設（双葉①工区、第2期）のモニタリング測定結果（年次測定）

## ● 騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/29 (稼働前)	57	58		
2019/4/17 (稼働後)	71	63		

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ● 振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2018/7/29 (稼働前)	30未満	30未満		
2019/4/17 (稼働後)	47	42		

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ● 悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
	西側	東側	西側	東側
2018/7/29 (稼働前)	10未満 (風下)	10未満 (風上)		
2019/4/17 (稼働後)	10未満 (風下)	10未満 (風上)		

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆ 地下水検査項目

測定地点	測定地点		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/9/3 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		不検出	ND	ND	0.001	ND
下流	2018/9/3 (稼働前)		不検出	ND	ND	0.001	ND
	2019/4/10 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/9/3 (稼働前)		0.001	不検出	不検出	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		0.003	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/9/3 (稼働前)		0.012	不検出	不検出	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		0.001	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定地点		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/9/3 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/3 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

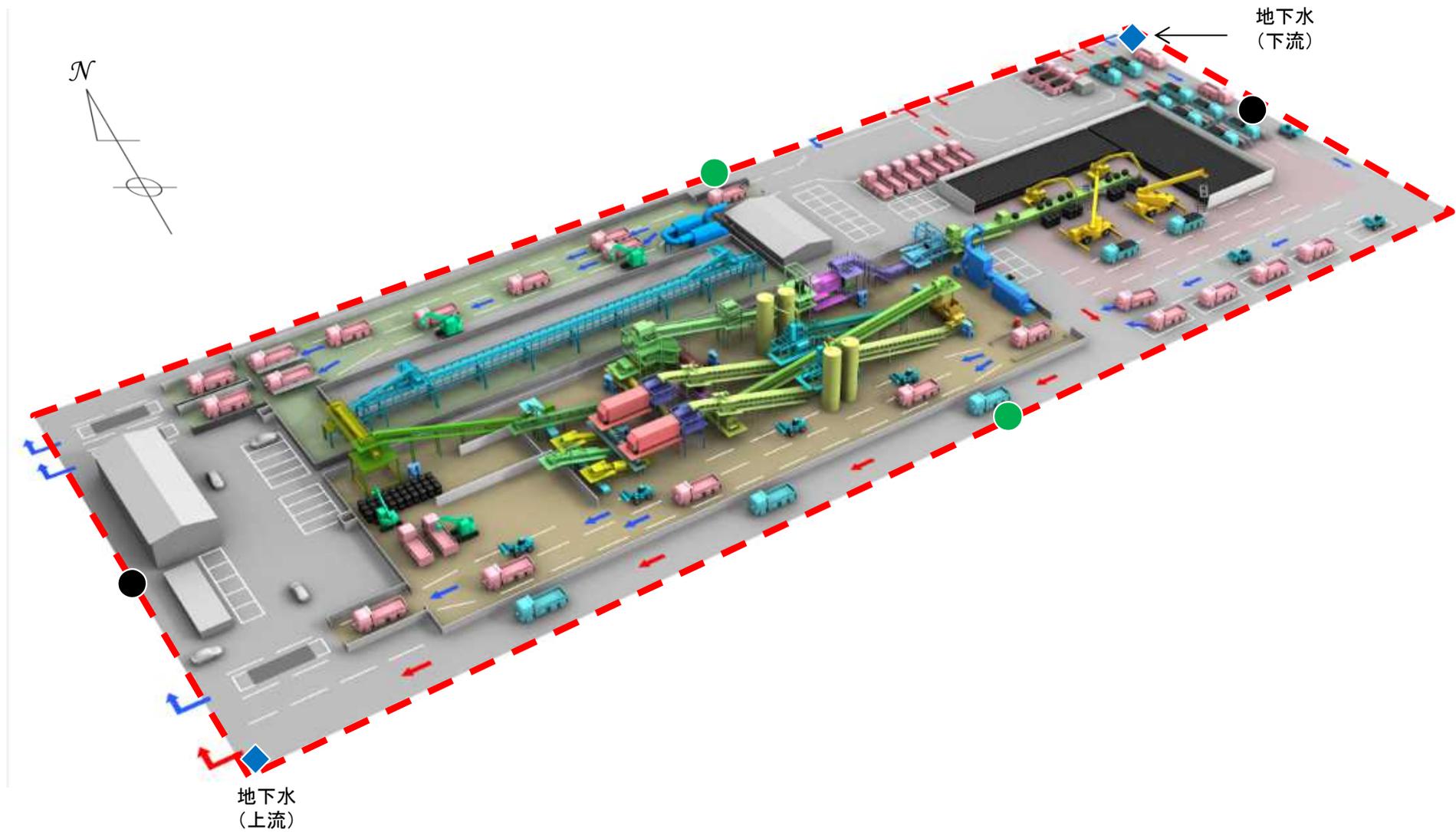
測定地点	測定地点		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/9/3 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/3 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/9/3 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/3 (稼働前)		ND	ND	0.004	ND	ND
	2019/4/10 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日	地下水環境基準	1以下
上流	2018/9/3 (稼働前)		0.7
	2019/4/10 (稼働後)		0.075
下流	2018/9/3 (稼働前)		1.9
	2019/4/10 (稼働後)		0.059

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



凡例			
●	騒音・振動	●	悪臭
◆	地下水検査項目	---	敷地境界線

# 受入・分別施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）

## ●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2019/1/17 (稼働前)	68	64		
2019/2/19 (稼働後)	71	70		

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2019/1/17 (稼働前)	50	40		
2019/2/19 (稼働後)	52	45		

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
	西側	東側	西側	東側
2019/1/17 (稼働前)	10未満 (風下)	10未満 (風上)		
2019/2/20 (稼働後)	10未満 (風下)	10未満 (風上)		

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水検査項目

測定地点	測定項目		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日	測定項目	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	不検出	ND	ND	0.014	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	不検出	ND	ND	0.009	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	不検出	ND	ND	0.014	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日	測定項目	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	0.004	不検出	不検出	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	0.002	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定項目		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日	測定項目	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日	測定項目	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND

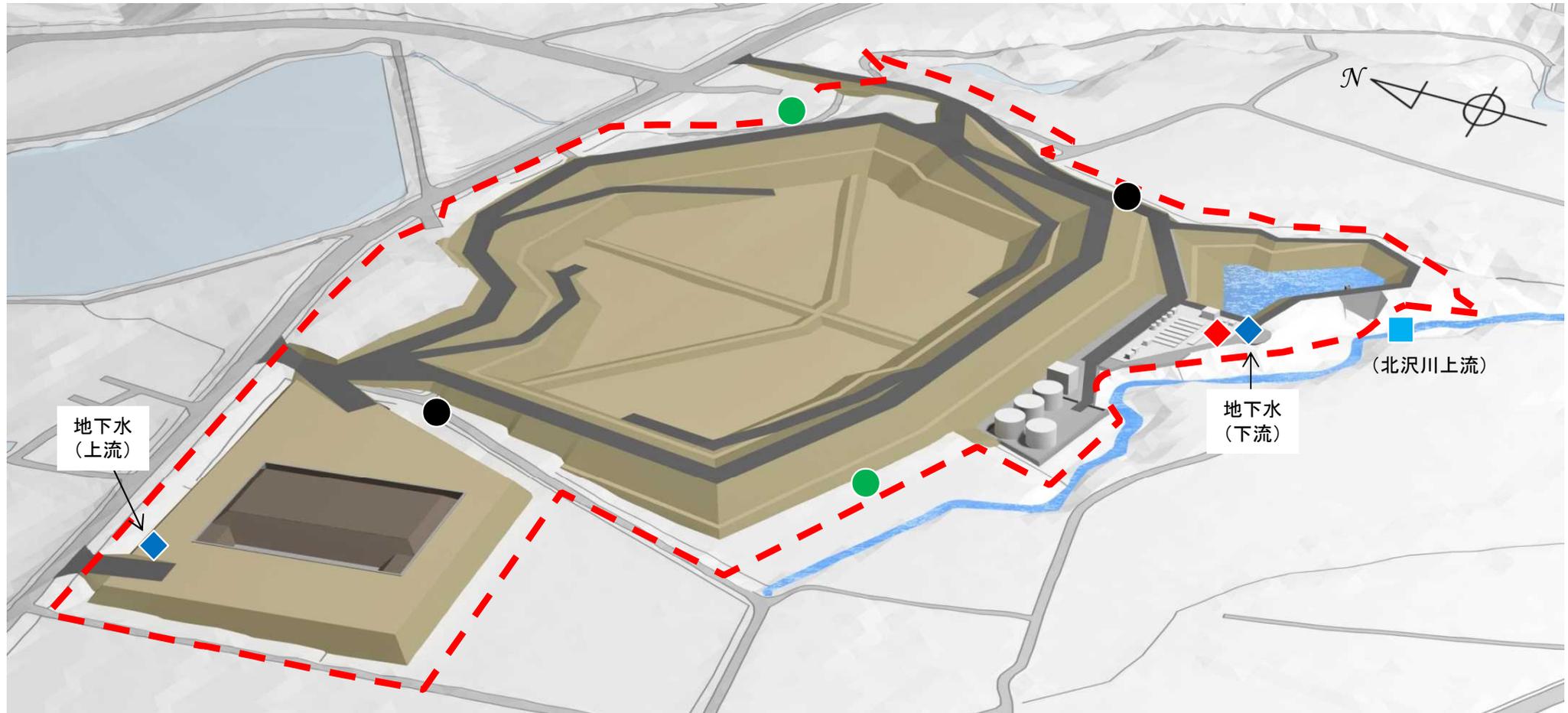
測定地点	測定項目		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日	測定項目	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日	測定項目	1以下
上流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	1.5
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	0.96
下流	2019/1/17 (稼働前)	地下水環境基準	0.12
	2019/2/19 (稼働後)	地下水環境基準	0.26

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

大熊工区  
土壌貯蔵施設のモニタリング結果(年次測定)

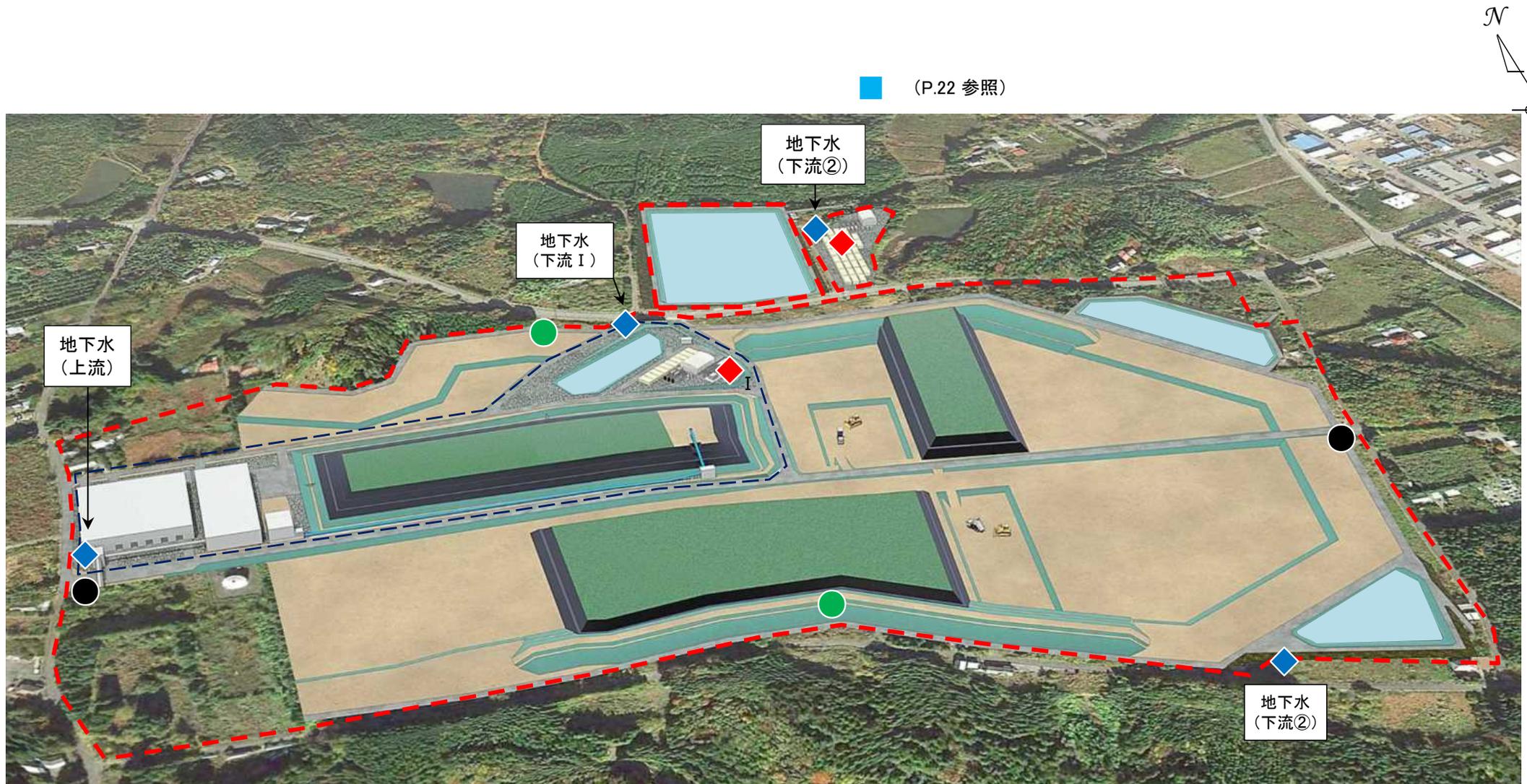
# 土壌貯蔵施設（大熊①工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



凡例		
● : 騒音・振動	● : 悪臭	◆ : 地下水(井戸)の環境項目
◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ : 放流先河川の環境項目	--- : 敷地境界線

年次測定項目については、中間貯蔵施設環境安全委員会(第14回)でモニタリング結果を報告して以降、測定は実施していない。

# 土壤貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



凡例					
● (Green)	: 騒音・振動	● (Black)	: 悪臭	◆ (Blue)	: 地下水(井戸)の環境項目
◆ (Red)	: 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ (Blue)	: 放流先河川の環境項目	---	: 敷地境界線
---	: 旧大熊②工区、第1期 土壤貯蔵施設境界				

# 土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

## ●騒音

測定日	騒音レベル (dB)	
	北側	南側
2018/7/11 (稼働前)	58	56
2019/6/5 (稼働後)	62	65

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	振動レベル (dB)	
	北側	南側
2018/7/11 (稼働前)	36	39
2019/6/5 (稼働後)	35	45

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	臭気指数	
	西側	東側
2018/7/11 (稼働前)	10未満 (風上)	10未満 (風下)
2019/6/6 (稼働後)	10未満 (風下)	10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)
			地下水環境基準						
上流	2018/7/10 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出
下流①	2018/7/11 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出
下流②	2018/7/10 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出
下流 I *	2017/10/11 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	不検出

測定地点	測定日	測定地点	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)
			地下水環境基準						
上流	2018/7/10 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流①	2018/7/11 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流②	2018/7/10 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流 I *	2017/10/11 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)
			地下水環境基準						
上流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流①	2018/7/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流②	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
下流 I *	2017/10/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
			地下水環境基準				
上流	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	0.057
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.058
下流①	2018/7/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	0.130
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.063
下流②	2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	0.058
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.060
下流 I *	2017/10/11 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	0.058
	2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	0.060

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

\*旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の downstream 井戸。

# 土壌貯蔵施設（大熊②工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

## ◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定地点	測定項目	アルキル水銀化合物	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物	カドミウム及び その化合物	鉛及びその化合物	有機炭化合物
	測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
	浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
処理水	2019/6/6 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目	六価クロム化合物	砒素及びその化合物	シアン化合物	ポリ塩化ビフェニル	トリクロロエチレン
	測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
	浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
処理水	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1ジクロロエチレン
	測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
	浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
処理水	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目	β-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム
	測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
	浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
処理水	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン及びその化合物	1,4-ジオキサン
	測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
	浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
処理水	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定項目	ほう素及びその化合物	ふっ素及びその化合物	アンモニア、アンモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物	ホルムアルデヒド抽出物含有量 (鉱油類含有量)	ホルムアルデヒド抽出物含有量 (動植物油脂類含有量)
	測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
	浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
処理水	2019/6/6 (稼働後)	0.02	ND	7.4	ND	ND
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	0.02	ND	31	ND	0.7

測定地点	測定項目	フェノール類含有量	銅含有量	亜鉛含有量	溶解性鉄含有量	溶解性マンガン含有量
	測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
	浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
処理水	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	0.02	ND	0.07
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	0.11	0.07

測定地点	測定項目	クロム含有量	大腸菌群数	ダイオキシン類
	測定日	(mg/L)	(個/cm <sup>3</sup> )	(pg-TEQ/L)
	浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
処理水	2019/6/6 (稼働後)	ND	7	0.015
処理水 I *	2019/6/6 (稼働後)	ND	12	0.056

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

\* 旧大熊②工区、第1期 土壌貯蔵施設の浸出水処理施設放流水。

## ■ 放流先河川の環境項目

測定日	測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
	水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/7/10 (稼働前)		ND	不検出	ND	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)		ND	不検出	ND	ND	ND

測定日	測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
	水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/7/10 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定日	測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	β-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
	水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定日	測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定日	測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
	水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/7/10 (稼働前)		ND	ND	ND	0.38	ND
2019/6/6 (稼働後)		ND	ND	ND	0.61	ND

測定日	測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
	水質環境基準	1	0.05
2018/7/10 (稼働前)		0.01	ND
2019/6/6 (稼働後)		0.01	ND

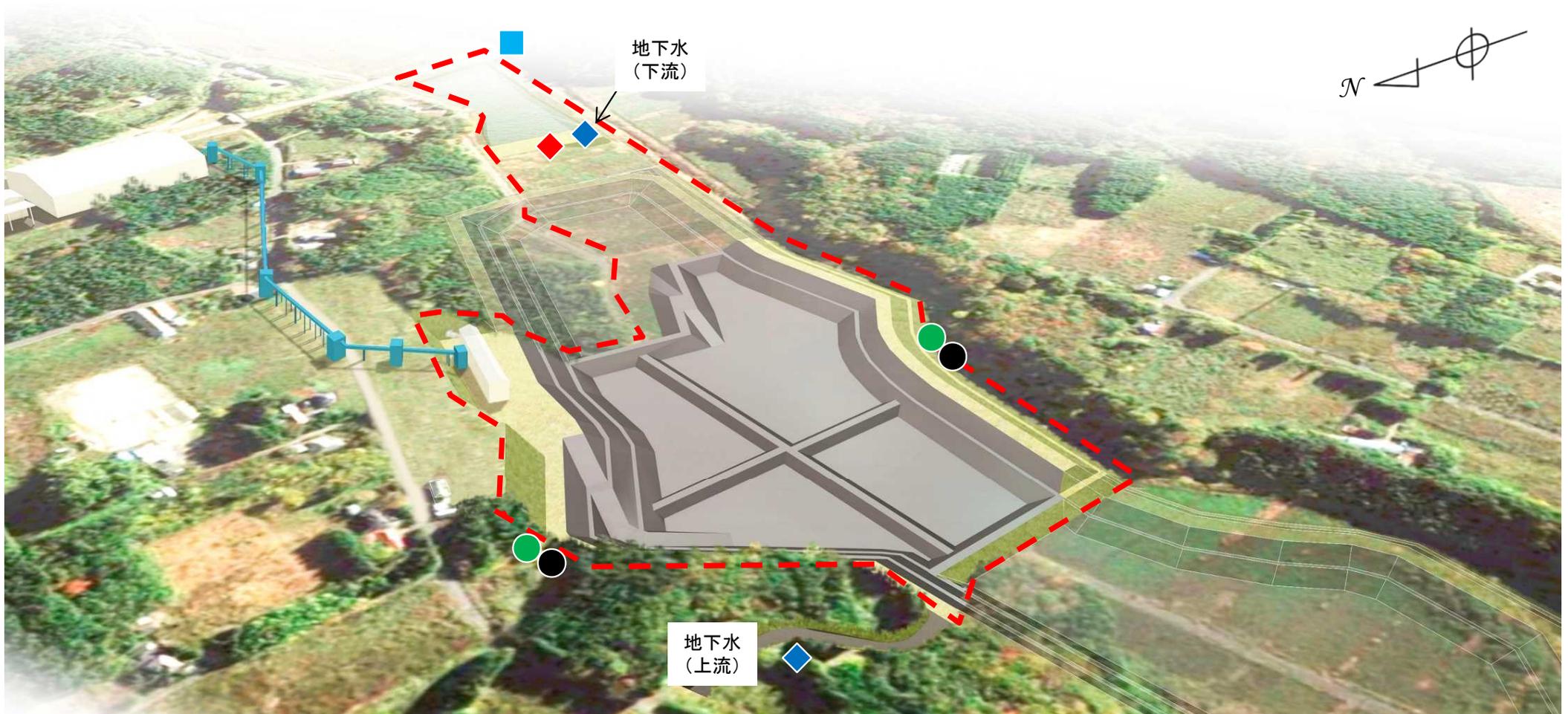
測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
2018/7/10 (稼働前)		7.1	0.9	19	9.4	240
2019/6/6 (稼働後)		7.6	3.2	3	10	1300

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5~8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定地点（年次測定）



## 凡例

● : 騒音・振動

◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

● : 悪臭

■ : 放流先河川的环境項目

◆ : 地下水(井戸)の環境項目

--- : 敷地境界線

# 土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（年次測定）①

## ●騒音

測定日	騒音レベル (dB)	
	北側	南側
2018/9/18 (稼働前)	43	39
2019/6/7 (稼働後)	49	47

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	振動レベル (dB)	
	北側	南側
2018/9/18 (稼働前)	38	40
2019/6/7 (稼働後)	32	31

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	臭気指数	
	北側	南側
2018/9/18 (稼働前)	10未満 (風上)	10未満 (風下)
2019/6/6 (稼働後)	10未満 (風上)	10未満 (風下)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定地点		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日	地下水環境基準					
上流	2018/9/18 (稼働前)	稼働前	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	不検出	ND	ND	0.002	ND
下流	2018/9/25 (稼働前)	稼働前	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準					
上流	2018/9/18 (稼働前)	稼働前	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	0.002	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/9/25 (稼働前)	稼働前	0.003	不検出	不検出	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定地点		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準					
上流	2018/9/18 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/25 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準					
上流	2018/9/18 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/25 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準					
上流	2018/9/18 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/25 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日	地下水環境基準	
上流	2018/9/18 (稼働前)	稼働前	0.062
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	0.11
下流	2018/9/25 (稼働前)	稼働前	0.82
	2019/6/6 (稼働後)	稼働後	0.045

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（大熊③工区）のモニタリング測定結果（年次測定）②

## ◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及び その化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機磷化合物 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2019/6/6 (稼働後)	不検出	ND	0.002	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1ジクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アモニア、アモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2019/6/6 (稼働後)	ND	0.11	15	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガン含有量 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	0.04	0.03	1

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日	(mg/L)	(個/cm <sup>3</sup> )	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2019/6/6 (稼働後)	ND	3	0.019

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/9/18 (稼働前)	ND	不検出	ND	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)	ND	不検出	ND	ND	ND

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/9/18 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/9/18 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/9/18 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/9/18 (稼働前)	ND	ND	ND	0.3	0.3
2019/6/6 (稼働後)	ND	ND	ND	0.4	0.27

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2018/9/18 (稼働前)	0.14	ND
2019/6/6 (稼働後)	0.1	ND

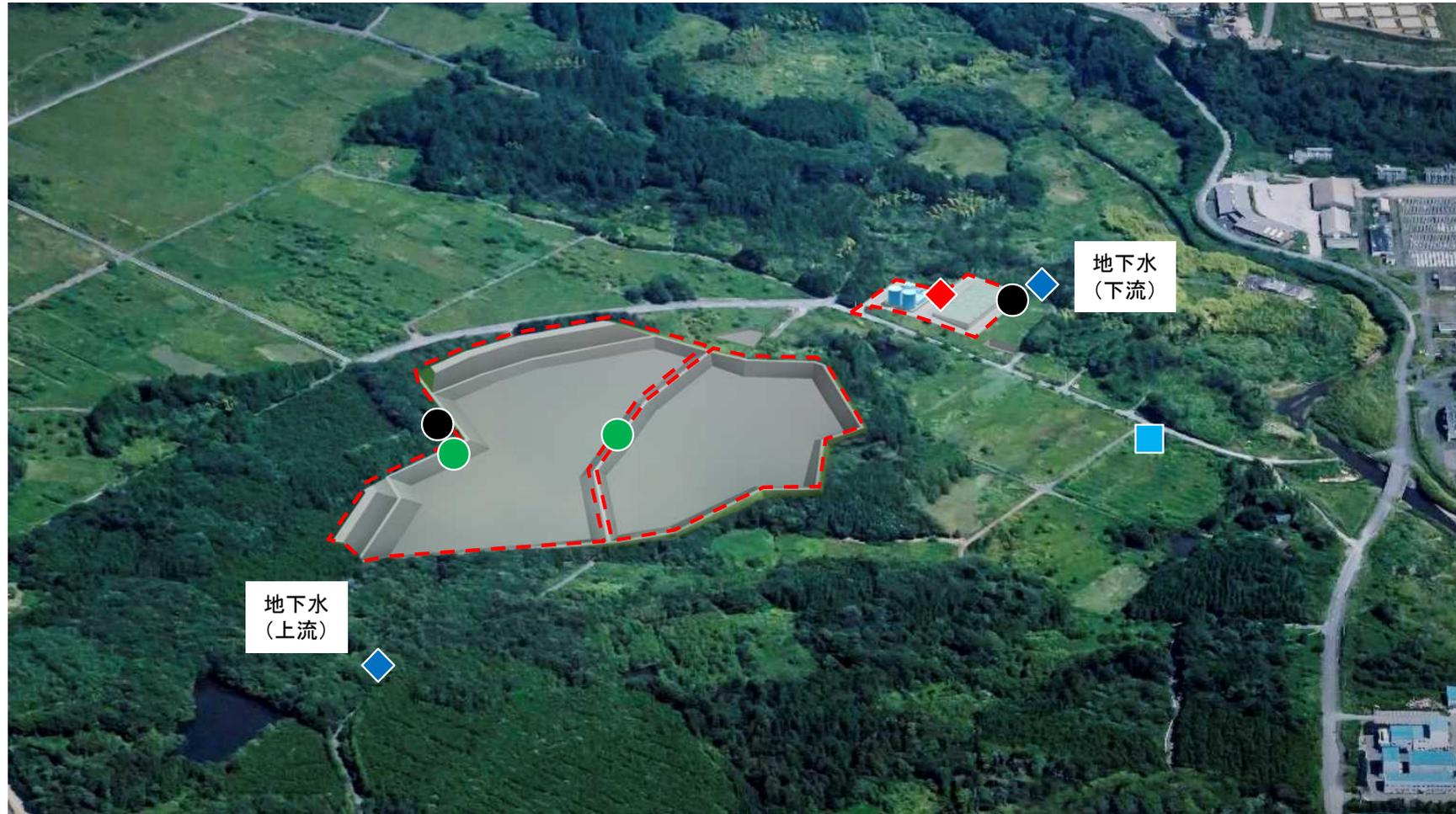
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2018/9/18 (稼働前)	7.6	ND	5	9	240
2019/6/6 (稼働後)	7	1.7	11	9.5	1700

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5~8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定地点（年次測定等）



凡例					
● (緑)	: 騒音・振動	● (黒)	: 悪臭	◆ (青)	: 地下水(井戸)の環境項目
◆ (赤)	: 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ (青)	: 放流先河川の環境項目	---	: 敷地境界線

年次測定項目については、稼働前のデータを記載している。稼働後は今後測定する。

# 土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（稼働前）①

## ●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
	西側	東側	西側	東側
2019/4/18	65	66		

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
	西側	東側	西側	東側
2019/4/18	41	54		

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
	北側	南側	北側	南側
2019/4/18	10未満（風上）	10未満（風下）		

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/4/18		不検出	ND	ND	0.051	ND
下流	2019/4/18		不検出	ND	ND	0.008	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/4/18		ND	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/4/18		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキササン	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2019/4/18		0.79
下流	2019/4/18		0.039

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（大熊⑤工区）のモニタリング測定結果（稼働前）②

## ■放流先河川的环境項目

測定日	測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
	水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/4/18		ND	不検出	ND	ND	ND

測定日	測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
	水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/4/18		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定日	測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	トリス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
	水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND

測定日	測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND

測定日	測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
	水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/4/18		ND	ND	ND	ND	ND

測定日	測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサ (mg/L)
	水質環境基準	1	0.05
2019/4/18		ND	ND

測定日	測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質量 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
2019/4/18		7.8	0.9	4	11.2	33

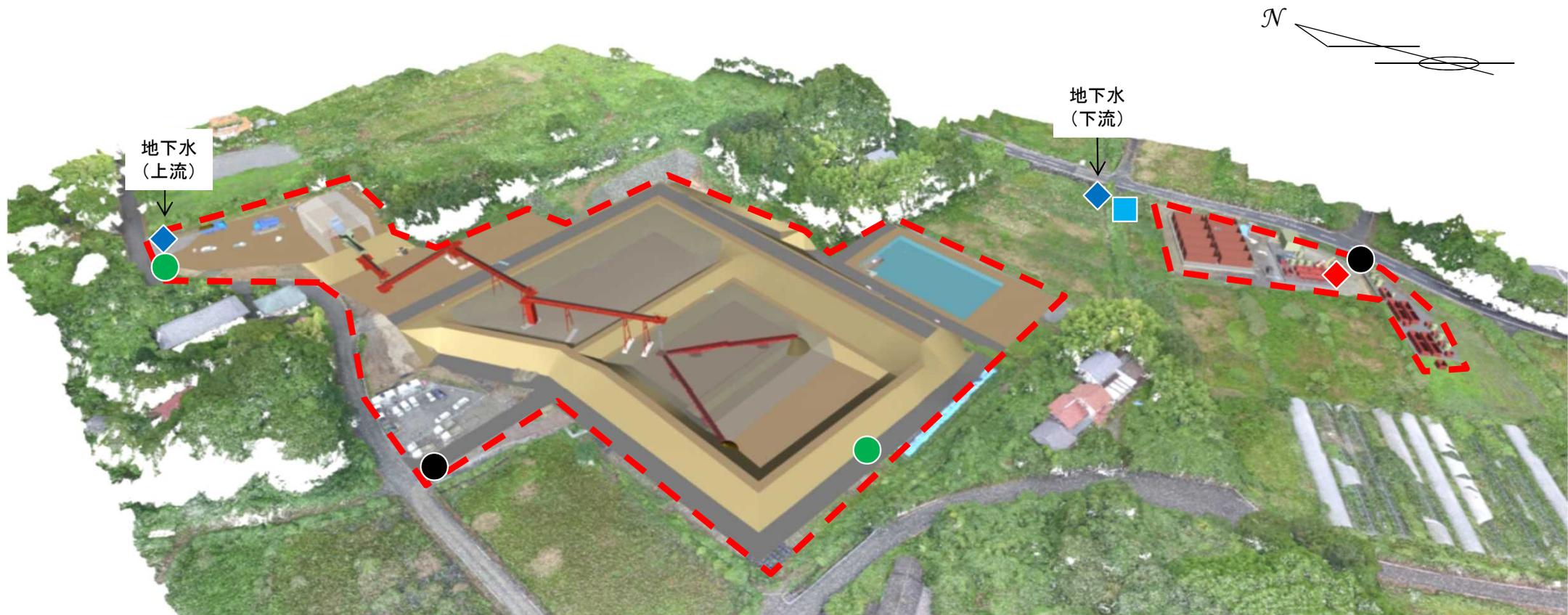
※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

双葉工区  
土壌貯蔵施設のモニタリング結果(年次測定)

# 土壤貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定地点（年次測定）



凡例		
● : 騒音・振動	● : 悪臭	◆ : 地下水(井戸)の環境項目
◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ : 放流先河川の環境項目	--- : 敷地境界線

# 土壌貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定結果（年次測定）①

## ●騒音

測定日	騒音レベル (dB)	
	北側	南側
2017/12/3 (稼働前)	42	39
2019/5/23 (稼働後)	59	75

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	振動レベル (dB)	
	北側	南側
2017/12/3 (稼働前)	30未満	30未満
2019/5/23 (稼働後)	31	52

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	臭気指数	
	西側	東側
2017/12/3 (稼働前)	10未満 (風下)	10未満 (風上)
2019/5/23 (稼働後)	10未満 (風下)	12 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2017/11/23 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		不検出	ND	0.0005	0.005	ND
下流	2017/11/23 (稼働前)		不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2017/11/23 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		0.006	不検出	不検出	ND	ND
下流	2017/11/23 (稼働前)		ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2017/11/23 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/11/23 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2017/11/23 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/11/23 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2017/11/23 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2017/11/23 (稼働前)		ND	ND	ND	ND	ND
	2019/5/15 (稼働後)		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2017/11/23 (稼働前)		0.34
	2019/5/15 (稼働後)		0.18
下流	2017/11/23 (稼働前)		0.097
	2019/5/15 (稼働後)		0.062

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（双葉①工区東側）のモニタリング測定結果（年次測定）②

## ◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及び その化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機磷化合物 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2019/5/15 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2019/5/15 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1ジクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2019/5/15 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2019/5/15 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2019/5/15 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アモニア、アモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2019/5/15 (稼働後)	ND	ND	5.6	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガン含有量 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2019/5/15 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日	(mg/L)	(個/cm <sup>3</sup> )	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2019/5/15 (稼働後)	ND	3	0.036

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2017/11/2 (稼働前)	0.0004	不検出	ND	ND	ND
2019/5/22 (稼働後)	0.0011	不検出	0.002	ND	0.002

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2017/11/2 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2019/5/22 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/5/22 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/5/22 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	0.09
2019/5/22 (稼働後)	ND	ND	ND	0.4	0.12

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2017/11/2 (稼働前)	ND	ND
2019/5/22 (稼働後)	ND	ND

測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2017/11/2 (稼働前)	7.0	ND	7	9.7	2200
2019/5/22 (稼働後)	7.1	3.7	130	8.2	24000

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5~8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壤貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定地点（年次測定）



凡例		
● : 騒音・振動	● : 悪臭	◆ : 地下水(井戸)の環境項目
◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目	■ : 放流先河川の環境項目	--- : 敷地境界線

# 土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定結果（年次測定）①

## ●騒音

測定日	騒音レベル (dB)	
	北側	南側
2018/7/29 (稼働前)	68	66
2019/4/17 (稼働後)	65	72

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	振動レベル (dB)	
	北側	南側
2018/7/29 (稼働前)	30未満	30未満
2019/4/17 (稼働後)	59	48

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	臭気指数	
	西側	東側
2018/7/29 (稼働前)	10未満 (風下)	15 (風上)
2019/4/17 (稼働後)	10未満 (風下)	10未満 (風上)

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定地点		アルキル水銀 (mg/L)	総水銀 (mg/L)	カドミウム (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	不検出	ND	ND	0.008	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	不検出	ND	0.0005	0.007	ND
下流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	不検出	ND	ND	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	不検出	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		砒素 (mg/L)	全シアン (mg/L)	PCB (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	0.002	不検出	不検出	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	0.005	不検出	不検出	ND	ND
下流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	ND	不検出	不検出	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定地点		ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	1,2-ジクロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)	クロロエチレン (mg/L)
	測定日	地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND
下流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	ND	ND	ND	ND	ND
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定地点		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
	測定日	地下水環境基準	1以下
上流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	2.0
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	0.21
下流	2018/9/10 (稼働前)	稼働前	0.71
	2019/4/3 (稼働後)	稼働後	0.045

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（双葉①工区西側）のモニタリング測定結果（年次測定）②

## ◆ 浸出水処理施設放流水の排水基準項目

測定項目	アルキル水銀化合物 (mg/L)	水銀及びアルキル水銀その 他の水銀化合物 (mg/L)	カドミウム及び その化合物 (mg/L)	鉛及びその化合物 (mg/L)	有機磷化合物 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	検出されないこと	0.005	0.03	0.1	1
2019/4/3 (稼働後)	不検出	ND	ND	ND	ND

測定項目	六価クロム化合物 (mg/L)	砒素及びその化合物 (mg/L)	シアン化合物 (mg/L)	ポリ塩化ビフェニル (mg/L)	トリクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.5	0.1	1	0.003	0.1
2019/4/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	テトラクロロエチレン (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1ジクロロエチレン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.1	0.2	0.02	0.04	1
2019/4/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.4	3	0.06	0.02	0.06
2019/4/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	シマジン (mg/L)	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン及びその化合物 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	0.03	0.2	0.1	0.1	0.5
2019/4/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	ほう素及びその化合物 (mg/L)	ふっ素及びその化合物 (mg/L)	アモニア、アモニウム化合物、亜 硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (鉱油類含有量) (mg/L)	ノルマルヘキサン抽出物含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	50	15	200	5	30
2019/4/3 (稼働後)	ND	ND	12	ND	ND

測定項目	フェノール類含有量 (mg/L)	銅含有量 (mg/L)	亜鉛含有量 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	溶解性マンガン含有量 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
浸出水処理施設の排水基準	5	3	2	10	10
2019/4/3 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	1

測定項目	クロム含有量 (mg/L)	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)
測定日	(mg/L)	(個/cm <sup>3</sup> )	(pg-TEQ/L)
浸出水処理施設の排水基準	2	3000	10
2019/4/3 (稼働後)	ND	0	0.022

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## ■ 放流先河川の環境項目

測定項目	カドミウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2018/9/3 (稼働前)	0.004	不検出	0.001	ND	0.001
2019/4/10 (稼働後)	0.0048	不検出	ND	ND	0.002

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2018/9/3 (稼働前)	ND	不検出	不検出	ND	ND
2019/4/10 (稼働後)	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/4/10 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND	ND	ND	ND
2019/4/10 (稼働後)	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND	ND	1.1	0.17
2019/4/10 (稼働後)	ND	ND	ND	0.2	0.31

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日	(mg/L)	(mg/L)
水質環境基準	1	0.05
2018/9/3 (稼働前)	ND	ND
2019/4/10 (稼働後)	ND	ND

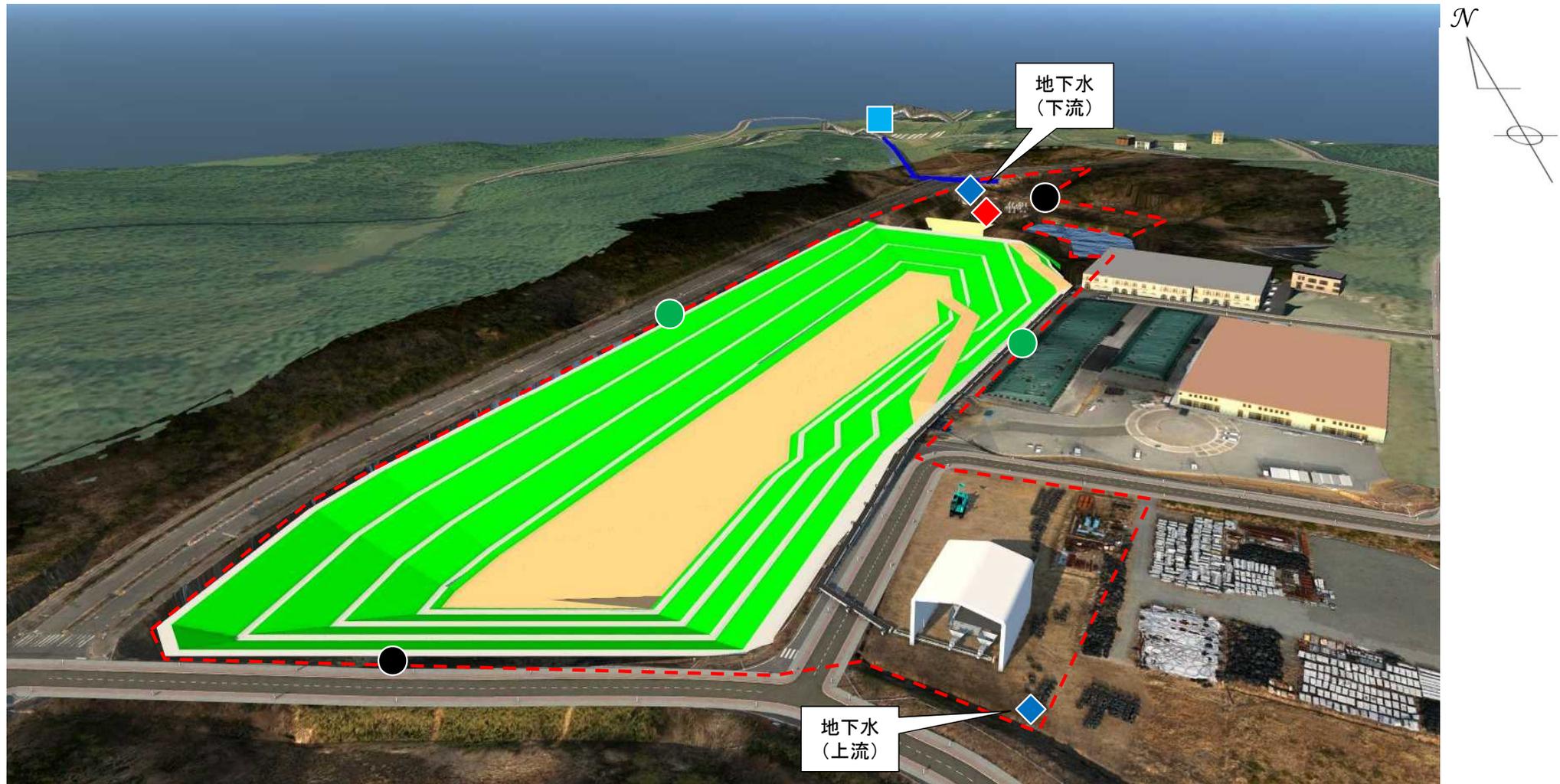
測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2018/9/3 (稼働前)	4.9	4.4	58	7.8	330
2019/4/10 (稼働後)	6.1	2.1	66	8.7	790

※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5~8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定地点（年次測定等）



- 凡例
- |                       |                |                  |
|-----------------------|----------------|------------------|
| ● : 騒音・振動             | ● : 悪臭         | ◆ : 地下水(井戸)の環境項目 |
| ◆ : 浸出水処理施設放流水の排水基準項目 | ■ : 放流先河川的环境項目 | --- : 敷地境界線      |

年次測定項目については、稼働前のデータを記載している。稼働後は今後測定する。

# 土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（稼働前）①

## ●騒音

測定日	測定地点		騒音レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2019/5/21			52	80

大熊町と双葉町は、騒音規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県生活環境の保全等に関する条例に基づく基準：60dB（昼間7:00～19:00）

## ●振動

測定日	測定地点		振動レベル (dB)	
	北側	南側	北側	南側
2019/5/21			35	38

大熊町と双葉町は、振動規制法に基づく指定地域を有する市町村に該当しない。  
福島県振動防止対策指針に基づく基準：65dB（昼間7:00～19:00）

## ●悪臭

測定日	測定地点		臭気指数	
	西側	東側	西側	東側
2019/5/21			10未満（風上）	10未満（風下）

事業用地は悪臭防止法に基づく規制の対象地域ではない。  
福島県悪臭防止対策指針による臭気指数の限度：15

## ◆地下水（井戸）の環境項目

測定地点	測定日	測定地点	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	検出されないこと	0.0005以下	0.003以下	0.01以下	0.05以下
上流	2019/5/8		不検出	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8		不検出	ND	0.0003	0.073	ND

測定地点	測定日	測定地点	砒素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.01以下	検出されないこと	検出されないこと	0.01以下	0.01以下
上流	2019/5/8		0.006	不検出	不検出	ND	ND
下流	2019/5/8		0.007	不検出	不検出	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,2-ジクロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.002以下	0.004以下	0.1以下	0.04以下
上流	2019/5/8		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	チウラム	シマジン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	1以下	0.006以下	0.002以下	0.006以下	0.003以下
上流	2019/5/8		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4-ジオキササン	クロロエチレン
			(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)
		地下水環境基準	0.02以下	0.01以下	0.01以下	0.05以下	0.002以下
上流	2019/5/8		ND	ND	ND	ND	ND
下流	2019/5/8		ND	ND	ND	ND	ND

測定地点	測定日	測定地点	ダイオキシン類
			(pg-TEQ/L)
		地下水環境基準	1以下
上流	2019/5/8		0.23
下流	2019/5/8		0.057

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

# 土壌貯蔵施設（双葉②工区）のモニタリング測定結果（稼働前）②

## ■放流先河川の環境項目

測定項目	ガドリウム (mg/L)	全シアン (mg/L)	鉛 (mg/L)	六価クロム (mg/L)	砒素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.003	検出されないこと	0.01	0.05	0.01
2019/4/24	ND	不検出	ND	ND	0.002

測定項目	総水銀 (mg/L)	アルキル水銀 (mg/L)	PCB (mg/L)	ジクロロメタン (mg/L)	四塩化炭素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.0005	検出されないこと	検出されないこと	0.02	0.002
2019/4/24	ND	不検出	不検出	ND	ND

測定項目	1,2-ジクロロエタン (mg/L)	1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.004	0.1	0.04	1	0.006
2019/4/24	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	トリクロロエチレン (mg/L)	テトラクロロエチレン (mg/L)	1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	チウラム (mg/L)	シマジン (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003
2019/4/24	ND	ND	ND	ND	ND

測定項目	チオベンカルブ (mg/L)	ベンゼン (mg/L)	セレン (mg/L)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	フッ素 (mg/L)
測定日					
水質環境基準	0.02	0.01	0.01	10	0.8
2019/4/24	ND	ND	ND	0.5	0.14

測定項目	ホウ素 (mg/L)	1,4-ジオキサン (mg/L)
測定日		
水質環境基準	1	0.05
2019/4/24	ND	ND

測定項目	水素イオン濃度 (pH) ※	生物化学的酸素要求量 (BOD) ※ (mg/L)	浮遊物質 (SS) ※ (mg/L)	溶存酸素量 (DO) ※ (mg/L)	大腸菌群数 ※ (MPN/100mL)
測定日					
2019/4/24	7.9	2.2	140	10.2	1400

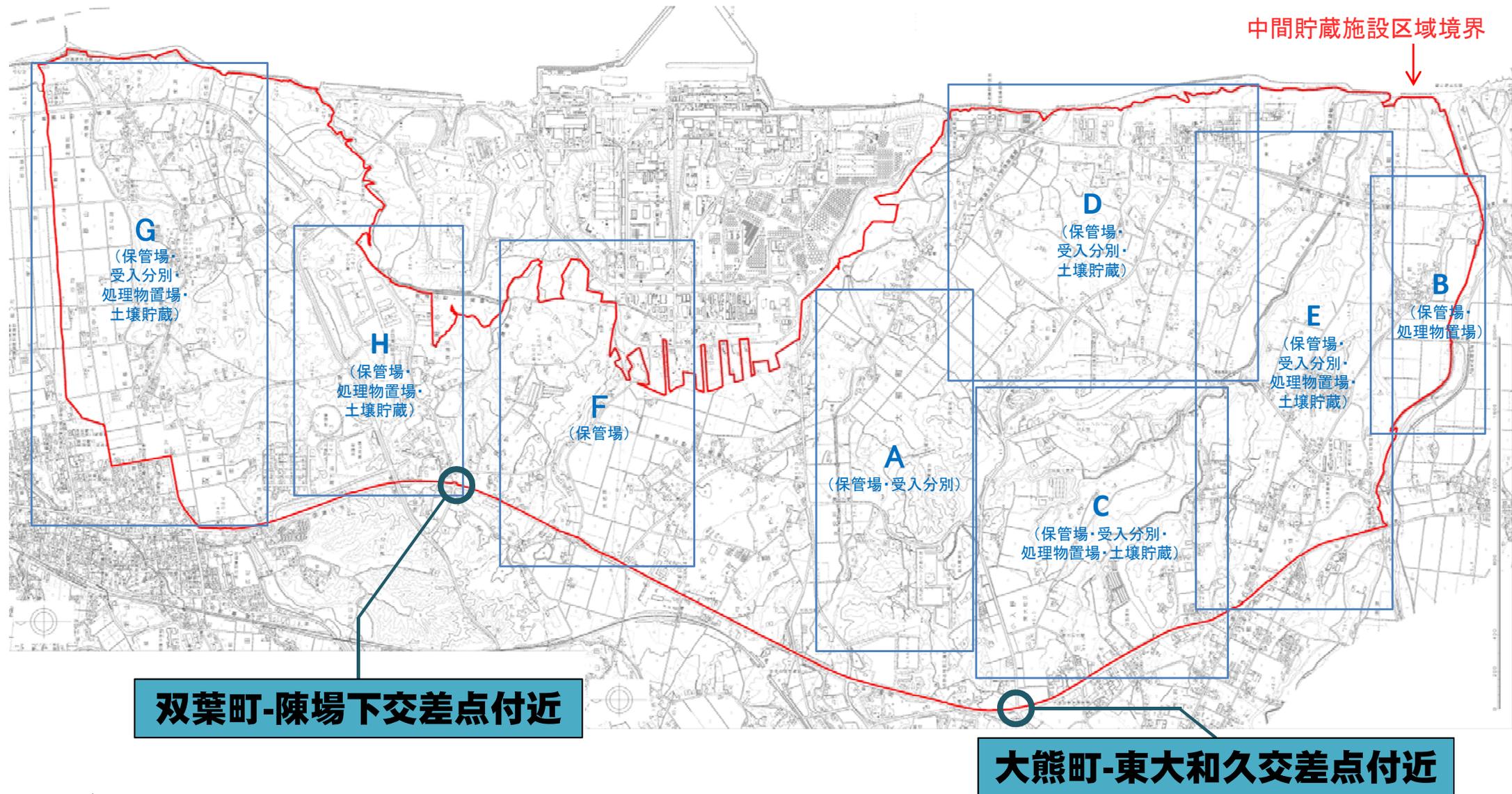
※中間貯蔵施設区域及び周辺の河川は、環境基準の水域類型に指定されていない。

(参考) 河川C類型の環境基準：pH 6.5～8.5、BOD 5mg/L以下、SS 50mg/L以下、DO 5mg/L以上

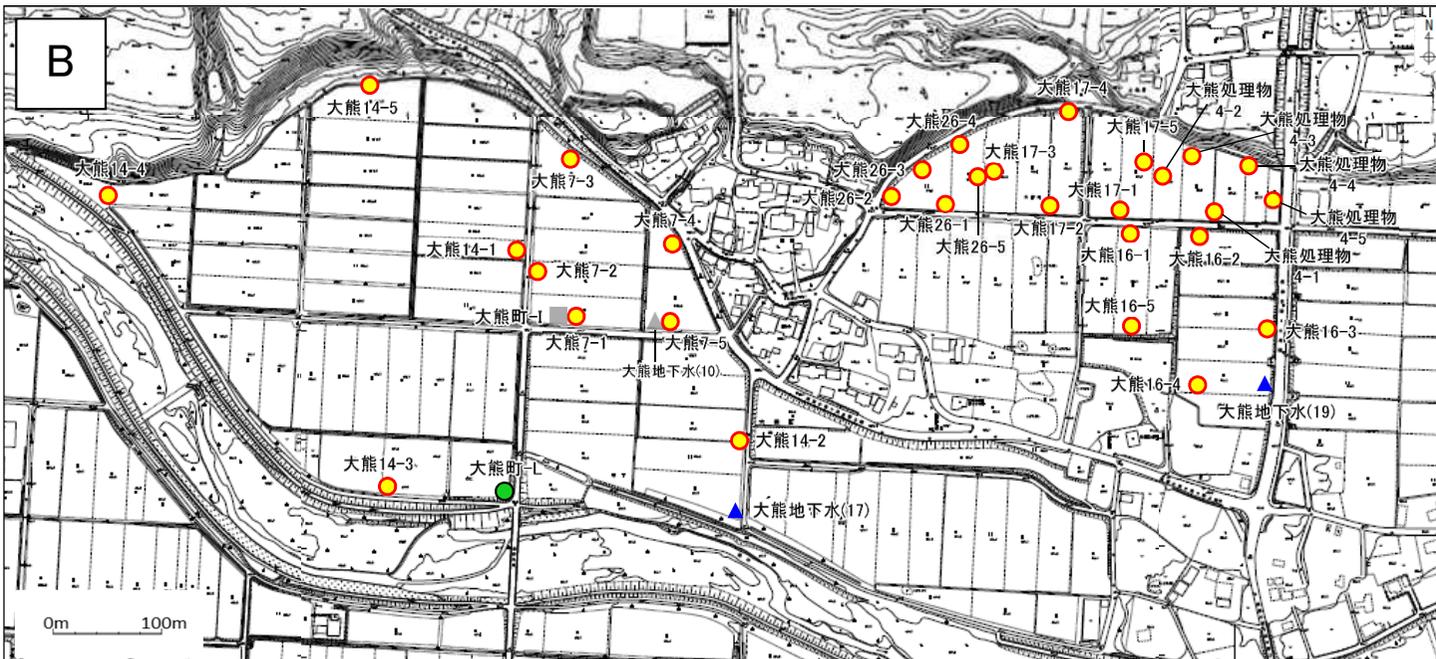
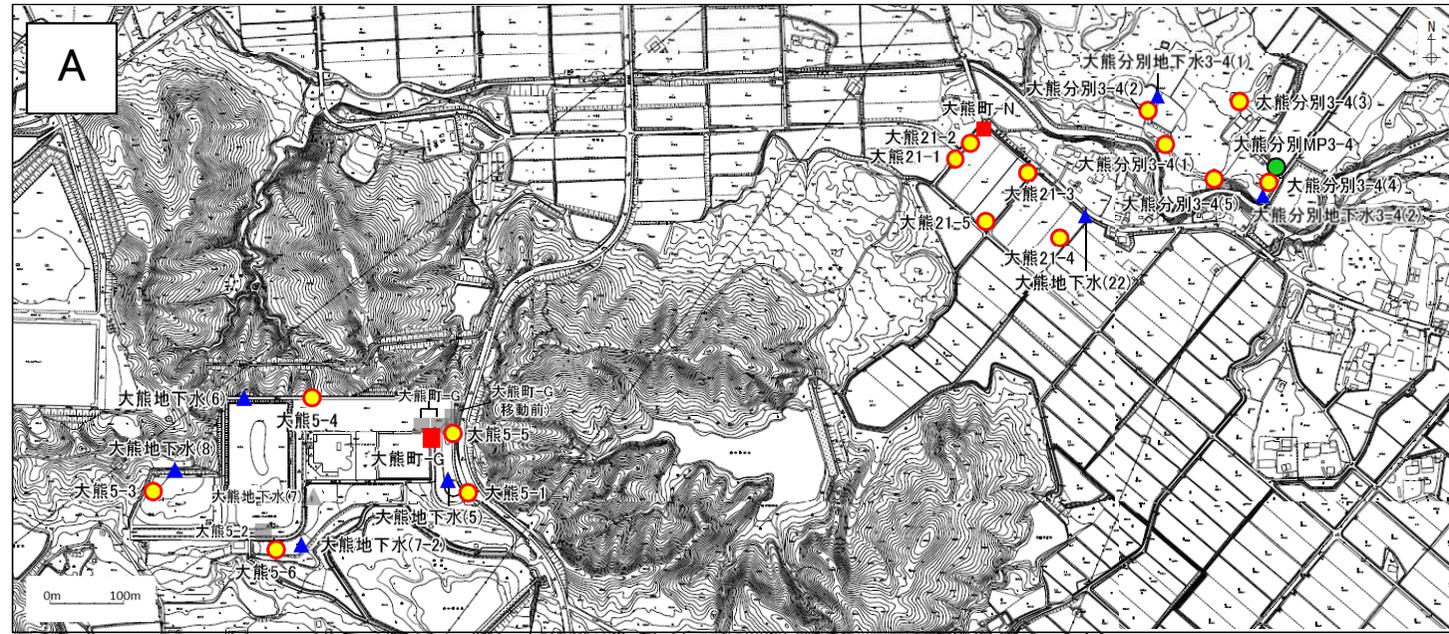
NDとは、定量下限値未満であることを示す。

## 中間貯蔵施設区域におけるモニタリング結果

# 中間貯蔵施設区域における放射線モニタリング位置図



# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



## 【凡例】

- ■ 空間線量率測定地点(連続測定)
- リアルタイムデータ自動送信
- 連続測定週次データ回収
- (参考)過去の測定地点
- 空間線量率測定地点(週次測定)
- ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)
- ▲ (参考)過去の測定地点

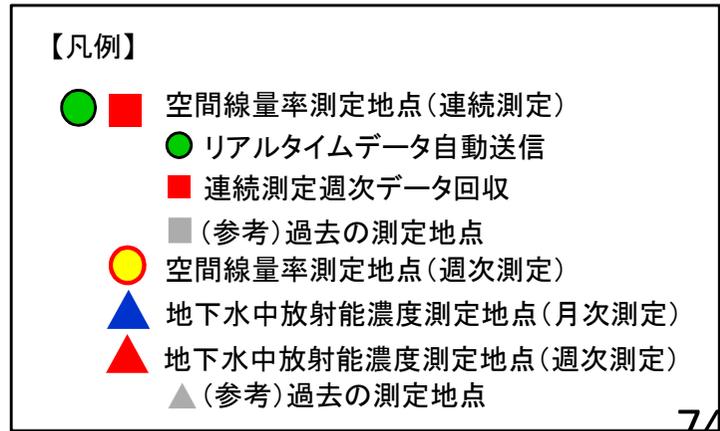
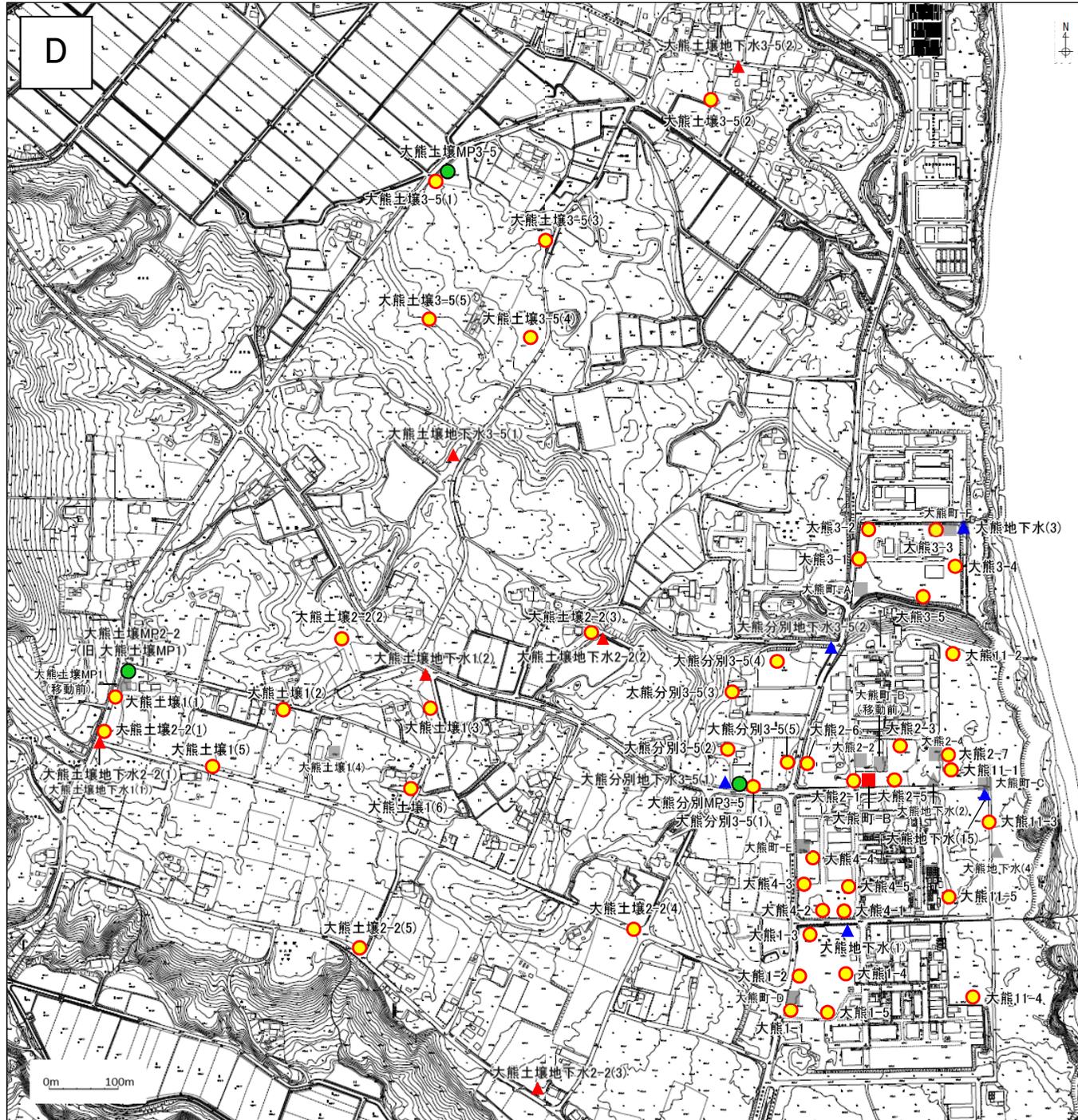
# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



## 【凡例】

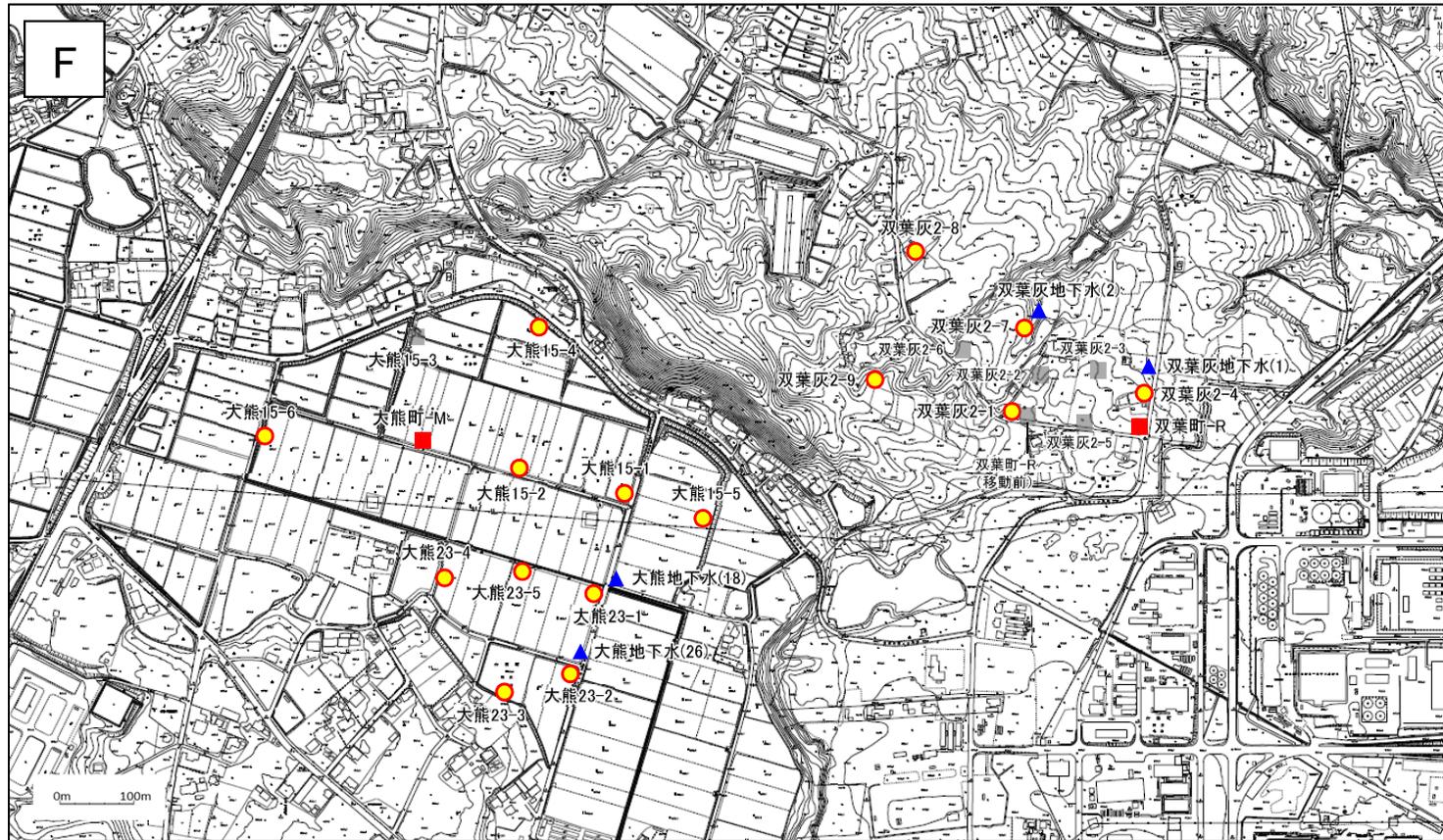
- 空間線量率測定地点(連続測定)
- リアルタイムデータ自動送信
- (参考)過去の測定地点
- 空間線量率測定地点(週次測定)
- ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)
- ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(週次測定)
- ▲ (参考)過去の測定地点

# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点





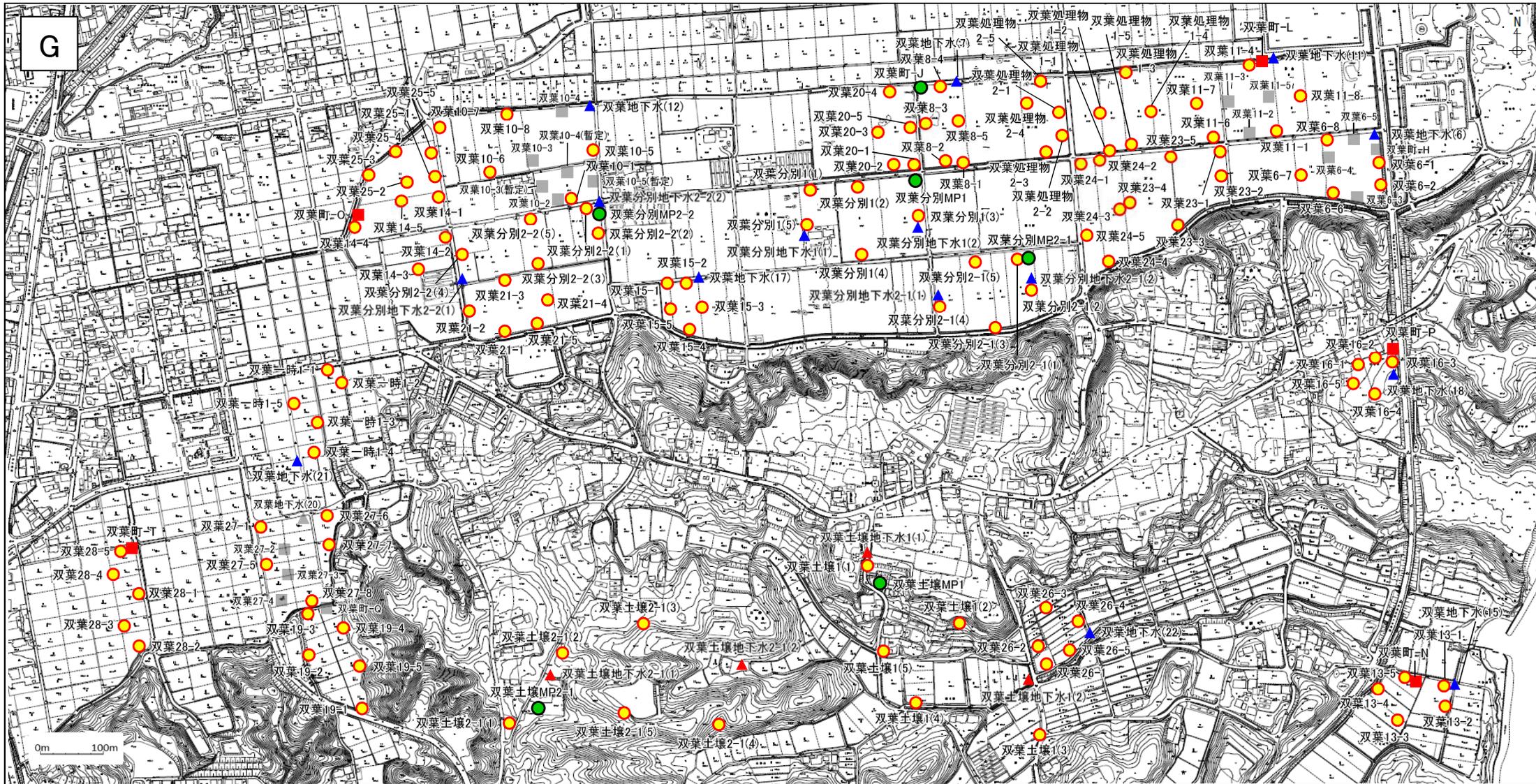
# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



## 【凡例】

- 空間線量率測定地点(連続測定)
- 連続測定週次データ回収
- (参考)過去の測定地点
- 空間線量率測定地点(週次測定)
- ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)

# 保管場等における空間線量率・地下水中放射能濃度の測定地点



## 【凡例】

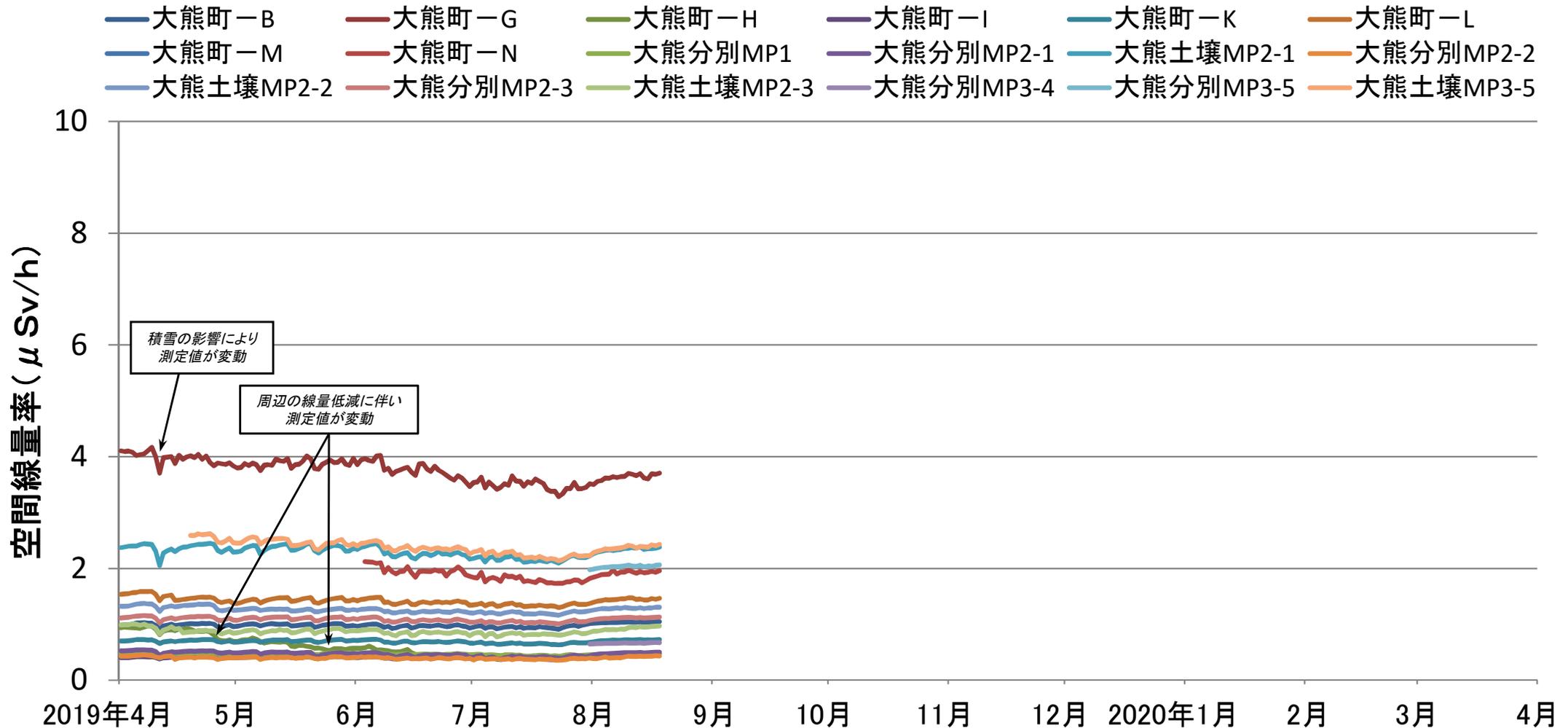
- ■ 空間線量率測定地点(連続測定)
- リアルタイムデータ自動送信
- 連続測定週次データ回収
- (参考)過去の測定地点

- 空間線量率測定地点(週次測定)
- ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(月次測定)
- ▲ 地下水中放射能濃度測定地点(週次測定)
- ▲ (参考)過去の測定地点



# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (大熊町)①

○ 空間線量率は、降雨・積雪、工事の進捗に伴う周辺の線量低減等による変動が見られたが、除去土壌等の搬入、保管による周辺への影響は見られなかった。



## 保管場等境界における空間線量率の推移(連続測定)(2019年4月1日～8月18日)

○ 地下水中の放射能濃度は、すべて検出下限値(1Bq/L)未満であることを確認した。

# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (大熊町)②

## 保管場等境界における空間線量率(連続測定)(2019年4月1日～8月18日)

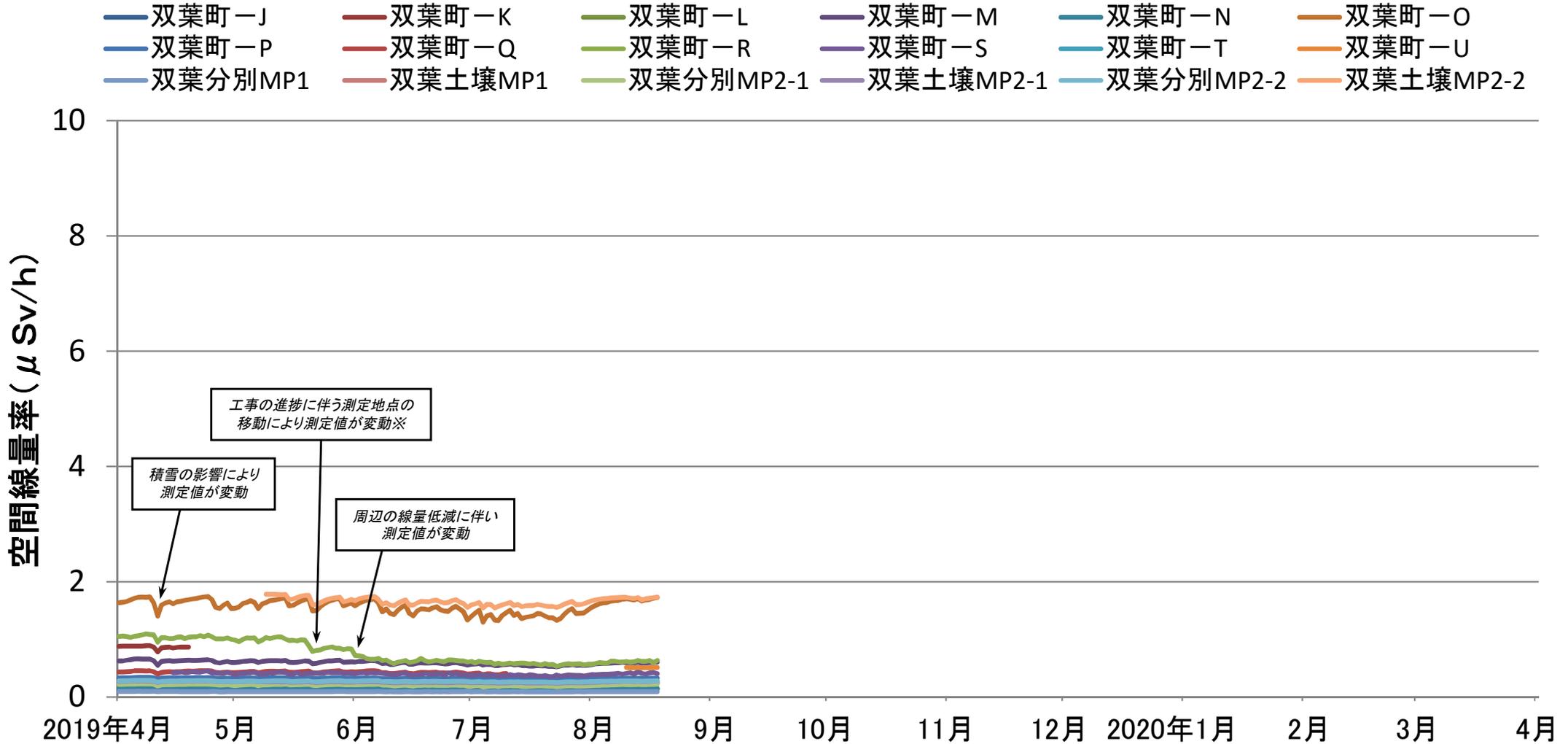
単位:  $\mu$  Sv/h

測定地点名	平均値	最大値 (日付)	最小値 (日付)	備考 (変動の理由、測定開始・終了日等)
大熊町-B	0.99	1.05 (8/18)	0.91 (7/23)	
大熊町-G	3.76	4.17 (4/9)	3.29 (7/23)	
大熊町-H	0.71	0.97 (4/8)	0.46 (6/16)	6/16 測定終了(当該保管場に保管されていた除去土壌が全て搬出されたため、撤去)
大熊町-I	0.41	0.43 (5/28)	0.38 (7/23)	8/8 測定終了(施設の拡大に伴い、新たな測定地点に移設)
大熊町-K	0.69	0.73 (6/6)	0.63 (7/23)	
大熊町-L	1.42	1.59 (4/9)	1.30 (7/23)	
大熊町-M	0.43	0.48 (8/18)	0.37 (7/23)	
大熊町-N	1.89	2.12 (6/3)	1.73 (7/22)	6/3 測定開始(保管場の新設に伴い、新たに設置)
大熊分別MP1	0.47	0.50 (4/4)	0.43 (7/15)	
大熊分別MP2-1	0.47	0.55 (4/7)	0.38 (7/8)	
大熊土壌MP2-1	2.30	2.45 (4/24)	2.05 (4/11)	
大熊分別MP2-2	0.40	0.45 (4/7)	0.36 (7/23)	
大熊土壌MP2-2 (旧大熊土壌MP1)	1.26	1.38 (4/7)	1.16 (7/23)	
大熊分別MP2-3	1.09	1.16 (4/7)	1.01 (7/23)	
大熊土壌MP2-3	0.88	1.01 (4/4)	0.78 (7/7)	
大熊分別MP3-4	0.66	0.68 (8/17)	0.65 (7/31)	7/31 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
大熊分別MP3-5	2.03	2.06 (8/18)	1.98 (7/31)	7/31 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
大熊土壌MP3-5	2.38	2.62 (4/24)	2.14 (7/23)	4/19 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)

※週次測定地点(224地点)の空間線量率は、0.21～11.3  $\mu$  Sv/hの範囲。(2019年8月16日時点)

# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (双葉町)①

○ 空間線量率は、降雨・積雪、工事の進捗に伴う周辺の線量低減、測定地点の移動等による変動が見られたが、除去土壌等の搬入、保管による周辺への影響は見られなかった。



保管場等境界における空間線量率の推移(連続測定)(2019年4月1日～8月18日)

※ 測定地点の移動においては、従前の地点と移設先の地点の空間線量率を測定し、変動の程度を想定した上で実施しており、移動後に変動が想定範囲内であることを確認している。

○ 地下水中の放射能濃度は、すべて検出下限値(1Bq/L)未満であることを確認した。

# 保管場等における空間線量率の測定結果(連続測定)等 (双葉町)②

## 保管場等境界における空間線量率(連続測定)(2019年4月1日～8月18日)

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

測定地点名	平均値	最大値 (日付)	最小値 (日付)	備考 (変動の理由、測定開始・終了日等)
双葉町-J	0.12	0.13 (8/18)	0.11 (7/23)	
双葉町-K	0.87	0.89 (4/9)	0.78 (4/11)	4/19 測定終了(施設の拡大に伴い、新たな測定地点に移設)
双葉町-L	0.14	0.14 (4/7)	0.12 (7/23)	
双葉町-M	0.60	0.66 (4/5)	0.52 (7/23)	
双葉町-N	0.14	0.15 (4/6)	0.13 (7/23)	
双葉町-O	1.57	1.74 (4/24)	1.30 (7/4)	
双葉町-P	0.32	0.34 (4/6)	0.30 (7/23)	
双葉町-Q	0.43	0.46 (4/24)	0.39 (7/4)	7/10 測定終了(区域境界(西側)の新設保管場に新たなモニタリングポスト設置のため、撤去)
双葉町-R	1.03※1	1.10※1 (4/8)	0.95※1 (4/11)	5/20 工事の進捗に伴う測定地点の移動 ※1 期間 4/1～5/19 ※2 期間 5/21～8/18
	0.64※2	0.87※2 (5/26)	0.53※2 (7/23)	
双葉町-S	0.40	0.45 (4/24)	0.35 (7/22)	4/15 測定開始(既設のモニタリングポストは、施設の拡大に伴い、新たな測定地点に移設)
双葉町-T	0.23	0.25 (7/13)	0.21 (7/8)	7/2 測定開始(保管場の新設に伴い、新たに設置)
双葉町-U	0.51	0.51 (8/10)	0.50 (8/14)	8/10 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)
双葉分別MP1	0.09	0.10 (4/10)	0.09 (7/22)	
双葉土壌MP1	0.23	0.25 (5/28)	0.22 (4/11)	
双葉分別MP2-1	0.21	0.23 (4/9)	0.17 (7/4)	
双葉土壌MP2-1	0.26	0.28 (4/7)	0.24 (7/22)	
双葉分別MP2-2	0.27	0.29 (4/7)	0.25 (7/23)	
双葉土壌MP2-2	1.66	1.78 (5/10)	1.54 (7/4)	5/9 測定開始(施設の新設に伴い、新たに設置)

※週次測定地点(215地点)の空間線量率は、 $0.08\sim 6.57\mu\text{Sv/h}$ の範囲。(2019年8月16日時点)

# 中間貯蔵施設区域境界における大気中放射能濃度の測定

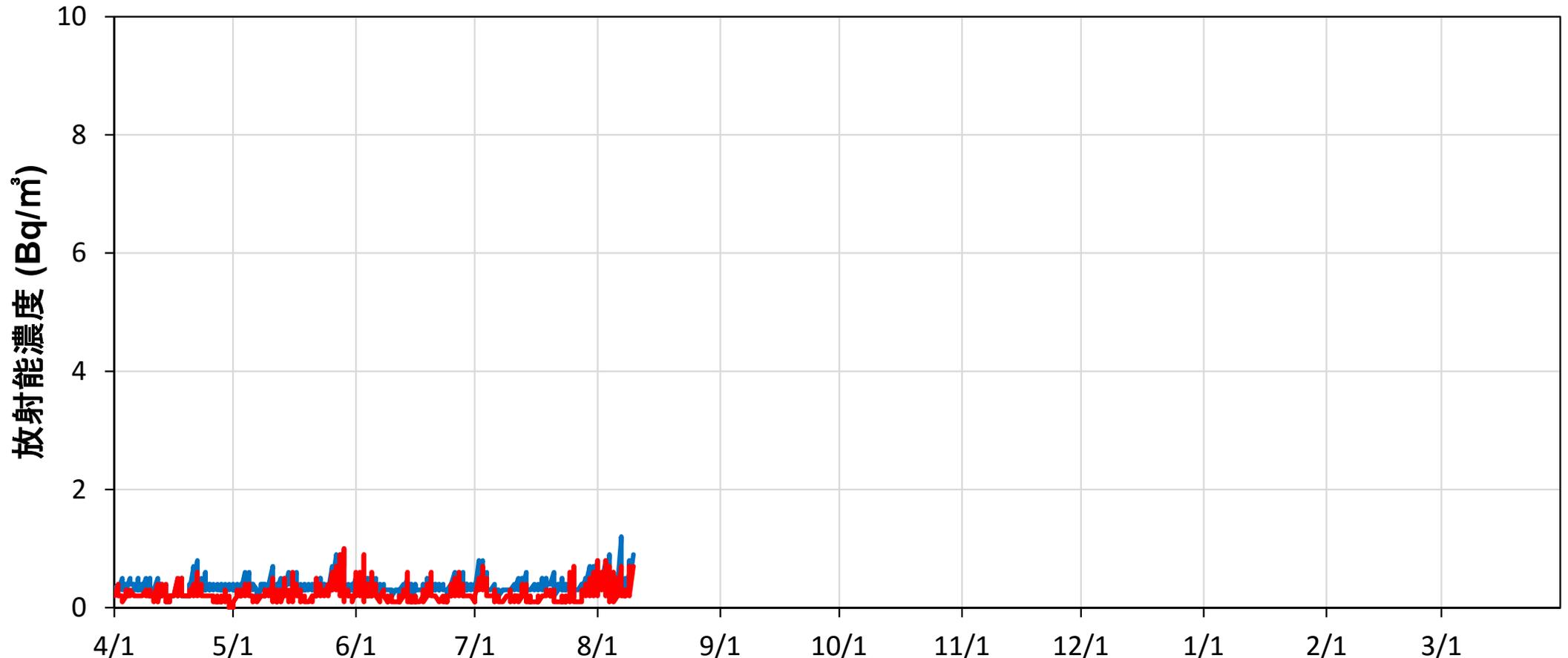
○大気中の浮遊じんに含まれる放射性セシウム濃度は、ゲルマニウム半導体検出器により、全て検出下限値未満であることを確認した(測定頻度:週1回)。

※検出下限値は千分の1Bq/m<sup>3</sup>程度、濃度限度はセシウム134濃度/20+セシウム137濃度/30 $\leq$ 1

○なお、放射能濃度の変化をより迅速に把握するため、2017年11月から、 $\beta$ 線の放射能濃度をリアルタイムに監視している。

— 大熊町—東大和久交差点付近

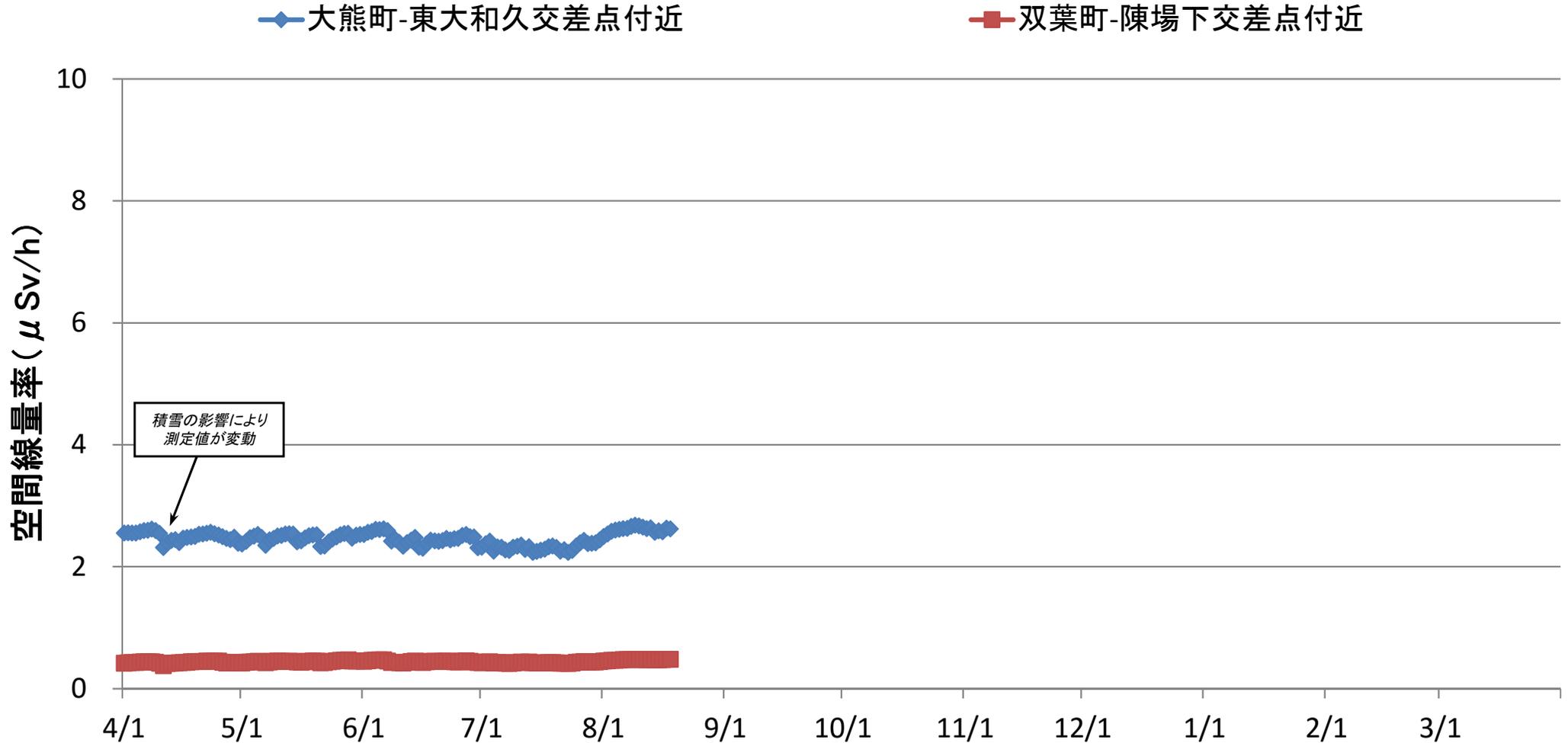
— 双葉町—陳場下交差点付近



中間貯蔵施設区域境界における大気中の $\beta$ 線の放射能濃度(連続測定)  
(2019年4月1日~8月9日)

# 中間貯蔵施設区域境界における 空間線量率の測定結果(連続測定)

○ 区域境界における区間線量率は、通常の変動の範囲内で推移していることを確認した。



中間貯蔵施設区域境界における空間線量率の推移(連続測定)  
(2019年4月1日~8月18日)

## 輸送路における放射線量率の測定結果



# 輸送路における放射線量率の測定結果

○ 輸送車両が通る時などに、数十秒間程度、平常時より高い放射線量率が観測される場合があったが、追加被ばく線量は十分に小さいことを確認した。

	当該地点を通過した輸送車両数 [台]	うち通過時に線量率の増加が観測されたもの [台]※1	(参考) 当該地点の空間線量率 [μSv/h]	(輸送車両通過時)		
				追加被ばく線量率 (瞬間最大値) [μSv/h] ※2	線量率の増加が観測された時間 (累積) [分] ※2	追加被ばく線量 (累積) [μSv]
①知命寺	3,819	47	0.14	0.08	9.3	0.004
②高瀬	15,147	1,275	0.17	0.45	315	0.2
③国道288	7,460	88	0.19	0.03	12	0.005
④常磐富岡IC	6,275	48	0.56	0.06	11	0.006
⑤広野IC	2,583	33	0.15	0.03	5.7	0.002
⑥南相馬IC	9,907	715	0.11	0.13	164	0.1
⑦相馬IC	4,698	642	0.10	0.32	126	0.09
⑧浪江IC	38,233	1,734	0.38	0.22	268	0.2
⑨大熊IC	38,618	0	0.40	-	-	-

※1 各地点の放射線量率の測定結果について「測定期間の平均値＋標準偏差の3倍」を超過した輸送車両数。

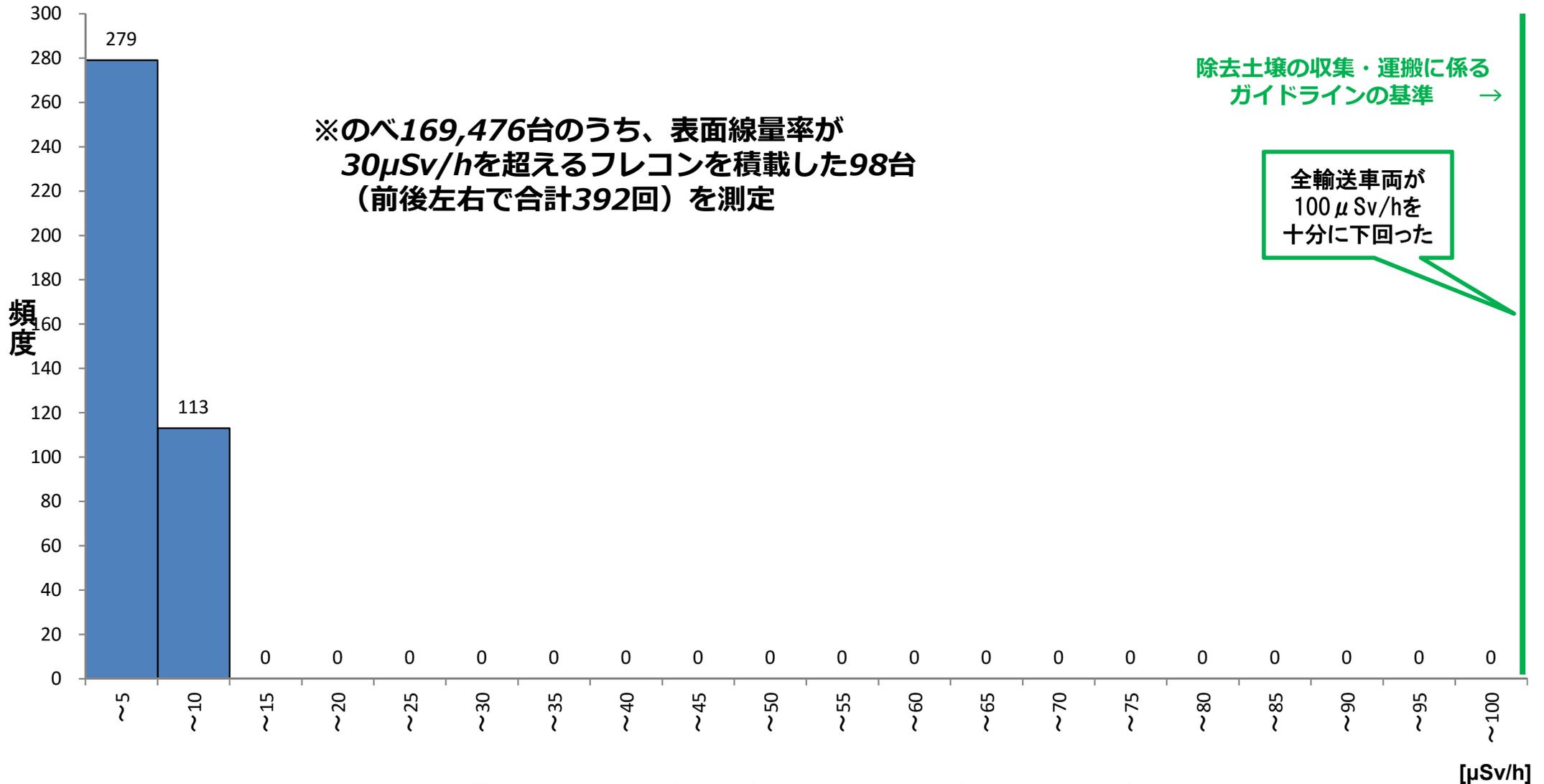
※2 測定は20秒単位。

輸送路における放射線量率の測定結果(2019年4月1日～7月31日)

## 輸送車両のモニタリング結果

# 仮置場搬出時の輸送車両周辺の空間線量率の測定結果

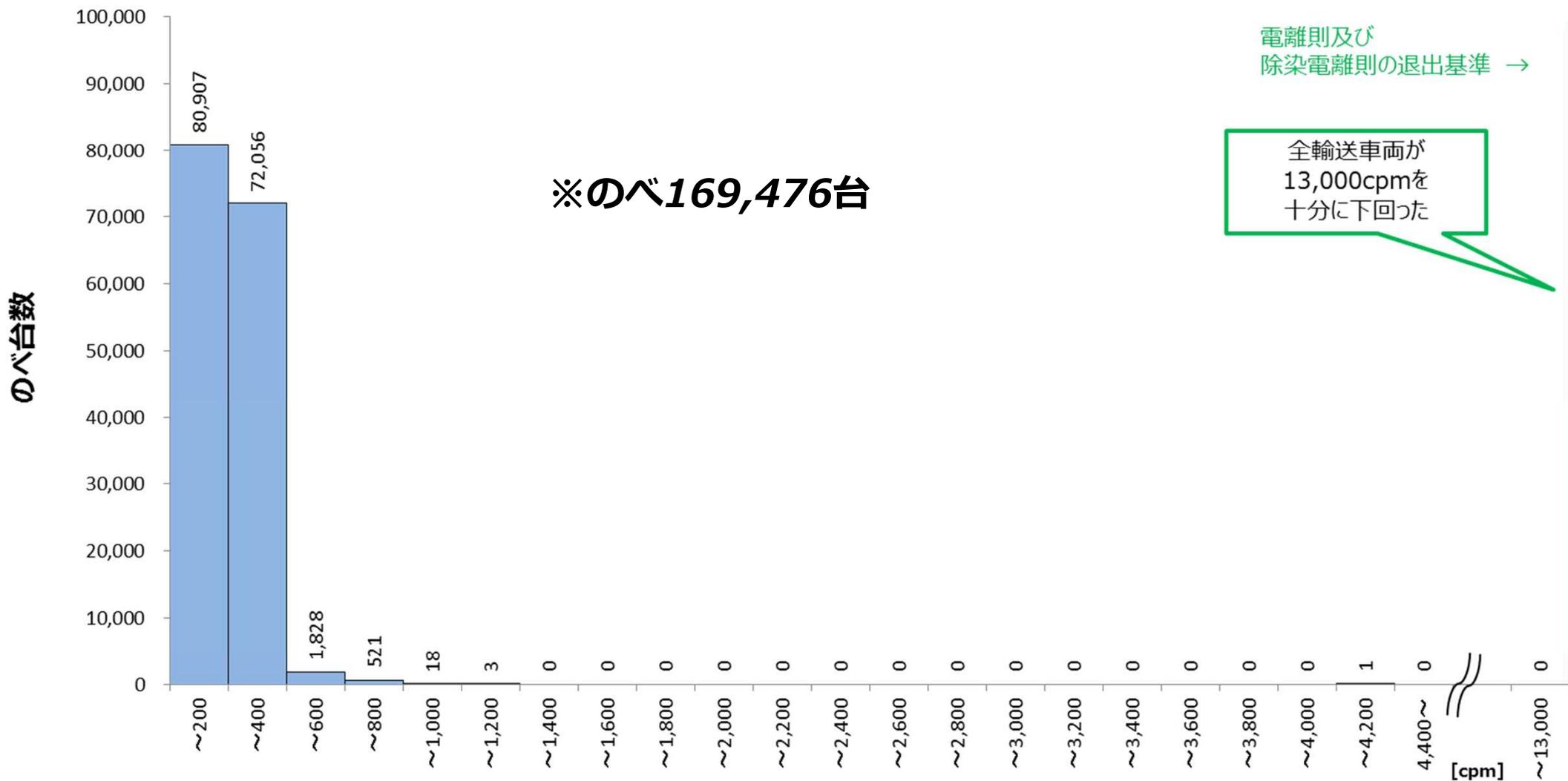
○ 仮置場からの搬出時に、表面線量率が $30\mu\text{Sv/h}$ を超えるフレコンを積載した車両について、前後左右1メートル離れた地点で空間線量率を測定し、積載した除去土壌等による周辺への放射線の影響を確認している。



輸送車両周辺の空間線量率の測定結果(2019年4月1日~2019年8月18日時点) ※バックグラウンドの影響も含む

# 施設退出時の輸送車両のスクリーニング結果

○ 中間貯蔵施設からの退出時に、除去土壌等を荷下ろしした輸送車両の汚染検査(スクリーニング)を行い、電離則及び除染電離則に定められた基準を超えていないことを確認している。



輸送車両のスクリーニング時の最大の表面汚染密度の分布(2019年4月1日~2019年8月18日)

※バックグラウンドの影響を含む